

Shiroishi News Letter

広報しろいし

No.621

5

■白石市のホームページ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

2011
平成23年5月1日発行

伝わる想い
つながる心

特集

「白石力」

3月11日午後2時7分に誕生した山崎^{やまざき}りちゃん（城北町）。

その39分後に"あの地震"はやってきました。

白石は多くの被害を受けましたが、多くの方々から多くのご支援をいただきました。

みんなの想いはきっと「希望」に届く—

復興に向けて、1歩ずつ前へ—

平成23年度「あしたば白石」春の講座(5月～8月)受講生募集！

5月10日(火)8:30～受付開始！ 【受付時間】 8:30～17:15
申し込み・お問い合わせは、電話または窓口で ☎25-5095・☎25-6593
※受付初日は、電話がつながりにくい場合がありますのでご了承ください。

昼の部

①講師、②参加費、③持ち物、④開催日(回数)

陶芸 土曜日 13:30～15:30 15人 忙しい日常からちょっと離れて、土に親しむことが一番の目的！ 湯飲み・皿・花器など、毎回違う作品をつくります。 ①鈴木 雅之先生 ②1,000円(全回分) ③材料代(毎回)2,000円、エプロン、タオル、新聞紙 ※焼き上げは講師が行います。 ④5/21・6/11・7/9・9/10・10/8・11/12(長期・全6回)	ルーシーダットン 月曜日 13:30～14:45 20人 タイ式ストレッチ「ルーシーダットン」。のんびりゆったり、気持ちよく体を動かすことでいつの間にか体が楽に。美顔効果まで期待できる、優しく楽ちんなストレッチです。 ①佐々木恵美子先生 ②1,000円(全回分) ③水分補給、動きやすい服装 ※運動靴は不要です。 ④5/23・6/6・6/20・7/4・7/11・7/25(全6回)
古典文学 木曜日 10:00～12:00 20人 「今昔物語」「伊勢物語」「土佐日記」などの有名な部分の読解を通して、昔の人の考え方や感じ方を学びます。 ①後藤 昭信先生 ②1,000円(全回分) ③筆記用具 ④5/19・6/2・6/16・6/30・7/7・7/21(全6回)	女性限定！ピラティス 木曜日 10:30～11:30 20人 ゆっくりと安定した動きと呼吸法で、体のゆがみを改善。質のよい筋肉で身体を守ります。お腹が引き締まり、すらりと伸びた手足に！ ①佐藤 順子先生 ②1,000円(全回分) ③水分補給、タオル、動きやすい服装 ※運動靴は不要です。 ④6/2・6/16・6/30・7/7・7/21・8/4(全6回)

夜の部

①講師、②参加費、③持ち物、④開催日(回数)

セルフコンディショニング 水曜日 19:00～20:30 20人 足裏のマッサージや背骨まわりをほぐして、体のゆがみやリンパの流れを改善。自分で体調をコントロールするトレーニングです。 ①八巻奈美子先生 ②1,000円(全回分) ③水分補給、バスタオル3枚、動きやすい服装、運動靴 ④6/1・6/15・6/29・7/6・7/20・8/3(全6回)	太極拳 月曜日 19:00～20:30 15人 ゆったりとした動きと呼吸法でリフレッシュ！ 健康維持に最適です。老若男女問いません。 ①上西 則子先生 ②1,000円(全回分) ③水分補給、タオル、動きやすい服装 ※運動靴は不要です。 ④5/30・6/13・6/27・7/11・7/25・8/1(全6回)
卓球教室 金曜日 19:00～21:00 15人 ラケットの握り方や構え方など、基礎から学ぶ卓球教室です。老若男女問いません。 ①卓球愛好会の皆さん ②1,000円(全回分) ③水分補給、タオル、動きやすい服装、運動靴、ラケット(持っている方のみ) ④5/20・6/3・6/17・7/1・7/15・7/29(全6回)	 あしたば白石 白石市新館町1-21

※「昼の講座」は、無料で託児を行います。1歳～小学3年生までのお子さまで、事前に申し込みが必要です。



▲水芭蕉の皆さんと風間市長、市担当者で施設の今後の発展を誓いました

特定非営利活動法人「水芭蕉」

「市民の皆さんが実施するさまざまな文化・芸術・スポーツ活動を支援したい」という思いを持った方々が集まり、平成22年10月18日に設立。事業の推進や支援を行うとともに、行政とのパートナーシップを図りながら市民生活や文化の向上に寄与することを目的としています。4月1日現在、社員は11人(賛助会員を募集中)。
本市が管理を指定するNPO法人としては、白石スキー場の「不忘アザレア」、精神障害者小規模通所授産施設ポプラの「白石うぐいす会」に次いで3番目となります。

■「あしたば白石」の開館日時について

●開館日時 月～土曜日 9:00～21:00 ●休館日 日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)



あしたば
～“明日葉”のように元気に生き生きと～

「あしたば白石」の運営を「NPO法人水芭蕉」に移管しました

36年の歴史を持つ「あしたば白石」。その管理運営を「特定非営利活動(NPO)法人水芭蕉」に移管することが2月議会で決まり、4月1日、その移管式をあしたば白石で行いました。
式の中で風間市長は、「民間だからこそできる活用方法を考えてほしい。復興に向けて、市民の楽しみを発信してほしいと思います」とあいさつ。水芭蕉の井上哲理事長は、「創意工夫をしながら、利用する皆さまとともに頑張っていきたい」と今後の抱負を話しました。
あしたば白石は、昭和50年4月に「白石市働く婦人の家」としてオープン。平成12年3月、施設の愛称を公募し「あしたば白石」と決定。平成20年4月の組織再編により勤労青少年ホームと統合しました。主に、施設が主催する講座や自主サークルの方々に活動の場を提供するなど、人と人をつなぐ施設として機能。また、利用者の皆さんが1年の成果を発表する場として、「あしたば白石(働く婦人の家)まつり」を開館から毎年開催しています。
今後は、民間事業者のノウハウを取り入れることで、サービスの向上と経費の縮減が期待されます。新しい「あしたば白石」を、ぜひご利用ください。

利用する皆さまの声を聞き、
創意工夫をしながら元気を発信

あしたば白石は、震災の影響により若干の工事は必要ですが、昨年の耐震工事のおかげで大きな被害はありませんでした。
この施設をこれからどう活用していくか？ 民間だからこそ、幅広く迅速に対応できることがあります。利用する皆さまの声を聞きながら、職員一人一人が「復興に向けて元気な白石を発信していく」という気持ちで、創意工夫をしながら会員・利用者の皆さまとともに頑張っていきたいと思っています。



NPO法人水芭蕉
いのうえ さとし
井上 哲 理事長



「あしたば白石」の由来
明日葉は、セリ科の多年草で、「今日摘み取っても明日には芽を出す」と言われるほど生命力の強い植物。「男女がともに“あしたば”のように強く、たくましく、生き生きと活動していく」との願いがこの施設には込められています。



市長 「白石藩倶楽部」をご存じですか。会員には、秋から冬にかけて白石の農産物や米、味噌、醤油、スイーツなどをお送りしているのですが、バナラさんには、ぜひ、白石の特産などもPRしていただければと思います。

バナラ ぜひ、白石の特産品などのキャラクターに「バナラこけし」を使っていたいただければと思います。

市長 伝統の弥治郎こけし、そして、バナラこけしのような新



型こけしも日本全国に発信していただきたいと思っています。

バナラ 祖母から白石の米や果物などを送ってもらっています。「白石藩倶楽部」の会員の皆さんに届いているものは、私にも届いていますので、ぜひ、白石の特産などもPRしていきたいと思っています。実は、白石の特産の中で、私は柿が大好きなんです。

市長 そうなんです。では、私からバナラさんに柿を贈りますので、楽しみに待っていてください。最後に、白石市民の皆さんにメッセージをお願いします。

バナラ 私はこれまで白石から元気をもらってきました。今度は私が白石に、たくさんの方のスマイルを届けたいと思います。それから、私は無声映画に声を付け



けるという活動写真弁士をしているので、もっと全国で公演を行って、そのたびに白石をPRしていきたいと思っています。

市長 本市の第五次総合計画では、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」をテーマとしております。交流が広がるよう、バナラさんにはすまいる大使として全国に白石をPRしていただければと思っています。市民の皆さんとともにバナラさんを応援していきますので、大いに飛躍してください。楽しみにしています。



すまいる大使に 白石生まれの活弁士 山崎バナラさんを任命 風間市長と対談

白石生まれの活弁士 山崎バナラさん

やまざきばにら 1978年白石生まれ。活弁士。声質がヘリウムボイスと呼ばれる特徴的な声と大正琴を弾き語る独特の芸風を確立し、注目を浴びている。大正琴やピアノで弾き語りをするなど新たな形態の活弁士として活躍。活弁士以外にも、踊りの振付師、声優、TV番組出演などマルチタレントとして活躍している。平成22年11月23日、(社)白石青年会議所主催の「山崎バナラの愉快な活弁ワールドinホワイトキューブ」で初のふるさとライブを行った。



本市の文化や歴史、豊かな自然環境、特性を生かした地域ブランドなど、白石のイメージにふさわしい人物を「すまいる大使」として任命する事業がスタート。第1号は、白石生まれの活弁士「山崎バナラ」さんを任命しました。認定式の後、バナラさんと風間市長が碧水園茶室で対談しました。

市長 すまいる大使にご就任いただきありがとうございます。バナラ こちらこそどうぞよろしくお願いします。

市長 バナラさんは、白石で生まれになったそうですね。



バナラ 私の祖父が白石の本町で産婦人科医をしていたので、白石で生まれました。妹が生まれたときは白石で過ごしていたので、「市民春まつり」で山車を引いたこともあります。幼いころから祖父父母のもとに遊びに来ていたので、白石をふるさとも思っています。

市長 バナラさんが生まれたのは、朝倉医院でしょうか。実は私もそこで生まれました。バナラ そうなんです。それはビックリしました。縁がありますね。

市長 バナラさんからみた白石はどのような印象ですか。

バナラ 昨年、ホワイトキューブでライブを行った時に、白石青年会議所の若いスタッフの皆さんに支援していただきました。有能な人材が適材適所で働いていることを知り、とてもいいまちだと思いました。



市長 白石は、「市民春まつり」「こけしコンクール」、夏は「夏まつり」、秋は「鬼小十郎まつり」「農業祭」など、四季折々のイベントを歴史に結び付け開催していますが、白石を活気付けるアイデアがあればお聞かせください。

バナラ 片倉小十郎は戦国ブームということもあり、とても人気があります。「鬼小十郎まつり」などを通して、もっとたくさんの人たちに、片倉小十郎の魅力を知ってもらうことが新たな白石の活気につながるのではないかと思います。

すまいる大使初となる山崎バナラさんに委嘱状を交付 白石城主片倉家の軍旗「釣鐘」のように、白石の名が全国に響くように！

3月7日、白石市観光大使（愛称すまいる大使）初となる山崎バナラさんへの委嘱状交付式を市役所で開催。交付式で風間市長は、「平成22年11月23日、白石青年会議所主催のライブが縁で、その後、青年会議所からバナラさんを観光大使に任命してはどうかという話があり、検討を重ね今日に至りました。市民の皆さんもバナラさんを応援していただけることをお願いします」とあいさつ。続いてバナラさんが、「白石市章は、片倉小十郎のお姉さんが白石城主である片倉の名が全国にとどろくようにと、軍旗に黒釣鐘のマークを付けられました。私もそのお姉さんの気持ちになって、白石の名が全国、そして世界に響くよう伝えたいと思っています。そして、白石市の名産である『白石和紙』のように、丈夫で長持ちする芸人を目指したいです」と話してくれました。バナラさんの任期は3年。観光PRに務めていただきます。



01 白石青年会議所の皆さんや佐藤善一観光協会長、風間市長がバナラさんを囲んで記念撮影 02 バナラさんにこけしを手渡す佐々木功工人

【白石市内の被害状況】



1_道路が陥没した田町地区 2_国指定天然記念物の材木岩も一部が崩落 3_建物にも大きな被害が 4_道路が崩れた国道457号 5_漆喰壁が一部崩れた白石城 6_ブロック塀が崩れ落ちるなど被害が大きい南町地区 7_東中学校校庭法面が崩落。一部の地域に避難勧告が出された 8_隆起したマンホールが至る所に 9_避難所での生活

●ライフラインの復旧状況（4月20日現在）

- ・電気（地震時約13,000世帯が停電）→ 3月14日約4,200世帯が復旧→ 3月17日市内全域で復旧
- ・電話（地震時約13,000世帯が不通）→ 電力復旧により NTT 交換所稼働（1,000世帯断線）→ 3月24日市内全域で復旧
- ・水道（地震時約8,000世帯が断水）→ 3月17日約3,000世帯が復旧→ 3月28日市内全域で復旧
※4月7日の余震で約300世帯が再び断水。4月12日に復旧した。

●人的被害（4月20日現在）

- ・死者 4名 ・負傷者 20名

●被害額内訳（4月20日現在）

（単位：千円）

区 分	被 害 額
保育園等施設関係	4,666
市役所関係	15,150
(財)白石市文化体育振興財団施設関係	117,585
コミュニティセンター関係	21,361
商工観光課施設関係	7,350
市道・河川・水路関係	1,724,000
農業施設関係	46,650
公園関係	83,500
サッカー公園	70,000
沖の沢郡山線関係	280,000
教育施設関係	404,122
上水道関係	231,000
下水道（農集排含む）	2,876,000
総 額	5,881,384

●避難所の設置状況

【小学校】
白石第一小学校、白石第二小学校、大平小学校
【中学校】
白石中学校、南中学校、福岡中学校
【高校】白石高等学校
【公民館】
中央公民館、越河公民館、大平公民館、大鷹沢公民館、深谷公民館
【その他】
ホワイトキューブ、スポーツセンター、鷹巣地区コミュニティセンター、白川5区集会所、東区集会所、斎川8区集会所、岩崎集会所、創価学会会館、城南集会所、上森合集会所、滝上集会所、旧勤労青少年ホーム

●地震の状況



（気象庁発表）
・震央：北緯38度6分12秒 東経142度51分36秒
※ 牡鹿半島の東南東約130[※]。付近
・震源の深さ：24[※]。
・地震の種類：海溝型地震、逆断層型
・余震回数：震度4以上111回、マグニチュード5以上408回（うちマグニチュード6以上68回）※4月12日15時まで

地震直後、被害状況などの情報収集を行う
白石市災害対策本部（市役所1階ロビー）

特集「白石力」

2011.3.11 東日本大震災を乗り越えるために—

このたびの東日本大震災により、亡くなられた皆さまに深く哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被害を受けた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

「まさか自分たちのまちで起きると思わなかった」

緊急地震速報がテレビなどで報じられた、その瞬間—激しい揺れがまちを襲った。

道路は割れ、塀や瓦は崩れ落ち、建物の中のあらゆるものをなぎ倒した。

数分後、まちの様子は一変し、電気・水道などのライフラインは寸断された。

窮地に陥った白石。そのとき、私たちができたこと、できなかったことは？

日本観測史上最大の地震

平成23年3月11日午後2時46分ごろ、日本観測史上最大規模の地震が東北、宮城、そして白石を襲った。三陸沖を震源とするマグニチュード9.0（昭和53年の宮城県沖地震はマグニチュード7.4、エネルギー量は数百倍規模）。白石市で震度6弱、栗原市で震度7、宮城県内各地や福島、茨城、栃木各県で震度6強を観測した。

そして、この地震がもたらした恐怖は激しい揺れだけではなく、地震直後、最大10メートルを超える大津波が沿岸部の自治体に壊滅的な被害を与えた。気仙沼市などでは大規模な火災が発生。福島県大熊町・双葉町にある東京電力福島第一原子力発電所が損壊し、放射性物質が放出された。

気象庁は、この地震の名称を「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」と命名。政府は閣議で、この地震によって引き起こされた津波などの被害を含めて「東日本大震災」と呼ぶことにした。

寸断されたライフライン

白石市では約13,900世帯が停電。水道も約8,000

世帯が断水した。固定電話・携帯電話も不通となり、家族・知人の安否確認や地震に関する情報を収集するための手段も断たれた。夕闇が迫る中、ライフラインを断たれ、断続的に襲う余震におびえながら、多くの方々が続々と避難所に避難した。避難所は最大で24カ所開設。12日には1,910人が避難した。3月中旬とはいえ夜は氷点下まで気温が落ち込み、地震当日は毛布などの救援物資や暖房も少ない状況での生活となった。寒さといつ来るか分からない余震、情報不足が肉体的にも精神的にも体力を奪っていた。

白石市史上最大の被害

地震から一夜明けると、被害の甚大さが次第に明らかになった。33年前の宮城県沖地震でも地滑りがあつた緑が丘地区は再び崩れ、城南・鷹巣地区とともに避難指示・避難勧告が出された。至る所で道路が割れ、マンホールが隆起し、ブロック塀が倒れ、瓦が崩れ落ちた。

被害総額は、市が管理する道路・施設だけでも50億円を超えた。市内の住宅をはじめ商業や農林業、製造業などへの影響は計り知れない。まさしく「史上最大」の被害となった。

情報伝達手段不足

市は、「正確で有益な情報をどのように迅速に広く伝えるか」という難題にぶち当たった。市役所や避難所への掲示、広報車、自治会長を通じての回覧などで周知を図ったが、めまぐるしく変化する情報に対応することは困難を極めた。それでもライフラインが復旧すると、市のホームページに災害関連情報を掲載し、しろいし安心メールでも情報を流した。ホームページへのアクセス件数は通常の3倍、安心メールの登録件数は地震から1ヵ月で約20割増えた。テレビや新聞などの報道機関も活用し、持てる情報を発信した。ただ、それでも十分ではなかった。

情報は安心を与えるための大きな手段になる。伝達手段をいかに確保し、必要な情報は何かということをもう一度整理する必要がある。



▲ホームページや安心メール、市役所前への掲示での周知

余震で被害が拡大、復興の足かせに



▲仙南仙塩広域水道の本管が再びはずれ断水した

断続的に続く余震は、被害をさらに広げ復興への足かせとなっている。

4月7日午後11時32分ごろに発生した地震では、白石で震度5弱を観測。この地震により水道管が破損し、寿山や緑が丘、郡山、白川など約300世帯が再び断水した。また、ホワイトキューブのガラス壁が落下したり、道路や建物の亀裂が広がったりするなど被害が拡大した。

しかし、被害以上に心配されるのは目に見えない「人々の心」である。緊急地震速報が鳴るたびに、「またあの地震が来るのか？」という不安に悩まされる。そうした日々が続けば、復興に向けて動こうとしている人々の心を折れかねない。長期戦を覚悟しなければならぬことを、再度、心にとどめておく必要がある。

つる不安・不満

地震から一夜明けた3月12日以降、食品、生活用品、ガソリン、灯油を手に入れようと各地のスーパーやコンビニ、ガソリンスタンドなどに大勢の人が詰め掛けた。

ライフラインを奪われ、移動手段のためのガソリン調達もままならない、欲しい情報がなかなか手に入らない、放射線という見えない敵、いつ起こるか分からない余震……。いくつもの「想定外」が重なった今回の大地震。不安や不満を挙げればきりがないだろう。

しかし、このような状況の中、自分の家のことを後回しにして活動した消防団や自主防災組織、ボランティアの方々がいた。隣近所の高齢者のために水や食料を調達した方々がいた。「想定外」に立ち向かうためにみんなが動いたのだ。



▲食料や生活用品を買い求めにスーパーなどには長蛇の列

ライフライン寸断

今回の地震は、あらゆるライフラインを寸断した。電気・電話は市内全域、水道も約6割の世帯で断水となった。そして、断続的に襲う余震の恐怖から逃れようと、人々は避難所へと向かった。しかし、停電の中での避難所開設は、食料や毛布などの備蓄用品を適正に配分するための避難者数把握を困難にした。さらに、電話が通じないことで本部と避難所、被害個所との迅速な連絡を取ることができなかった。

「想定外」の出来事を前に、便利な生活に慣れた私たちは、冬に逆戻りしたような寒さと先の見えない不安と闘う日々が続いた。文字通り「命綱」を断たれた状態となった。



▲信号機も含め市内全域のあらゆる電気がストップ

燃料不足で物流・経済がストップ



▲ガソリンスタンドには開店前夜から長蛇の列が

今回の災害の大きな問題の一つに、ガソリンや灯油、軽油などの燃料不足がある。道路が寸断されたことと、太平洋側の港湾施設が津波で損壊したことが大きい理由とされている。市は再三、燃料の供給を強く要請してきたが、2週間を過ぎてもガソリンスタンドなどの渋滞がとぎれることはなかった。

災害復旧車両を優先させた事情もあるが、緊急車両を優先させなければ復旧ができない。しかし、一般車両に行き渡らなければ経済が回らない、物流が回らないというジレンマに陥った。ガソリンスタンドや市役所などには苦情が相次いだ。このことは、今後の災害計画を見直す上で重く受け止めなければならない。

福島原子力発電所問題

白石でライフラインの復旧に全力を挙げているころ、見えない恐怖が白石にも降りかかろうとしていた。今回の地震と津波により、福島県大熊町・双葉町に立地している東京電力福島第一原子力発電所が損壊し、放射性物質が放出。福島県の一部地域では農産物や水道水からも基準値を超える数値が検出され、出荷制限や摂取制限が出された。

市では、宮城県が管理する仙南仙塩広域水道「南部山浄水場」の調査を要請。原乳や土壌についても調査を行い、放射性ヨウ素・放射性セシウムともに指標値を下回っていることを確認した。しかし、依然として予断を許さない状況が続いていることから、市としてもできる限りのことをしていかねばならない。



▲私たちの大切な水道水が危険にさらされた

次々と襲った

「想定外」

「地域の力」

心をつないだ

「消防団」が初動調査や本部⇨地域のパイプ役として活躍



地震発生直後、地域の消防団員はいち早く被害状況の調査や高齢者などの安否確認、避難所への誘導、警戒などに当たった。翌日以降も、崩落危険のある地域の警戒や崩落対策としてのビニールシート張り、対策本部との連絡調整などを行った。もちろん、彼らの家も被害に遭っている。家族もいる。自分の家を後回しにして「地域のために」と奔走した。これらの活動には、延べ約2,000人にのぼる消防団員が出動。彼らの活動は間違いなく地域の大きな力となった。「普段からともに活動している」という安心が住民にとっての精神的支えとなった。

「自治会・自主防災組織」が地域を牽引



1_避難所で会議する沖自治会の皆さん 2_炊き出しを行う大鷹沢地区の皆さん 3_地域の結束の強さを感じた

地震発生直後から、消防団とともに地域を支えたのが、地元自治会や自主防災組織だ。約430世帯が加入する沖自治会（高野次雄会長）は、地震直後に役員が手分けして各家庭を見回り、安否を確認した。そして、最大約250人いた福岡中学校の避難所で炊き出しを行ったほか、避難所支援のために班を編制し常駐した。同自治会は、平成22年6月に自主防災組織を結成したばかりだが、結成以前から炊き出しなどの訓練を行ったり、炊き出し用の大きな釜などを準備していたりした。まさに「備えが活きた」形となった。そのほかの自治会も同様に避難所や地区の住民たちを支えた。間違いなく地域の力となった。さらに、避難所となった各地区公民館や各小中学校の職員・先生たちも、誰にお願いされるでもなく支援に当たった。地域に暮らす人々が「地域のために」と尽くした。地域にはいろいろな職種の方が住んでいる。ある農家の方は米を準備し、ある建設業の方は自家用の発電機を避難所に提供した。これが「地域の底力」だった。



沖自治会長
たかの 高野 次雄さん

今回の地震を教訓に人と人のつながりをより大切に

自主防災会を発足して1年余りですがよくやった方だと思います。地域の誰がどういう設備を持っているかが普段の付き合いで分かっている。それを最大限利用させてもらいました。ただ、各避難所に発電機と燃料は必要だと感じました。また、組織的な役割を作っている、全員が白石にいたとは限らない。役員任せではなく地域の住民みんなが同じ意識の中で動けるようにしていく必要があります。そのためにも、常日ごろの隣近所同士の付き合い、人と人のつながりが一番重要になってきます。そ

して、一人一人が準備しておくことです。今後、高齢者の方々の管理や防災マップを整備していくつもりですが、問題になるのが個人情報保護の壁。過剰すぎるというとき手遅れになる場合もあるので、災害時のための対応を検討する必要があります。津波はなくても、山崩れやセッケ宿ダムの決壊、噴火の可能性はゼロではありません。シミュレーションしておくことも大切です。今回の地震を教訓に地域がよりつながっていければと思います。ぜひ反省会を開いて今後に生かしていきたいと思います。

全国から降り注いだ「支援の輪」



震災直後から、白石市には市内外を問わず多くの支援が届いている。企業や個人、自治体から「ヒト・モノ・カネ」すべての面で支援を得た。姉妹都市を結ぶ北海道登別市や神奈川県海老名市からは毎日のように物資が届いた。友好都市を結ぶ北海道札幌市白石区からは寄付金や小学生が書いた応援メッセージが届いた。遠くは福岡県や長崎県、熊本県の自治体からも下水道復旧の応援隊が白石を訪れた。白石戦国武将隊「奥州片倉組」の皆さんは、東京都の宮城ふるさとプラザで募金活動を行ってくれた。白石に限らず日本全国が、お金に代えられない「人の温かさ」に包まれた。

若い力が輝いた「災害ボランティア」



東北学院大学4年
しばた 柴田 しず香さん
白石工業高等学校3年
よしだ 吉田 翔一さん

同じ白石でも地域によって被害が違うと感じました。地震後、高齢者だけでは片付けなどはできない。少しでも役に立って良かったと思います。

3月18日、白石市社会福祉協議会は全国から訪れるボランティアに対応するため、「白石市災害ボランティアセンター」を設置。ボランティアの方々は、がれきの片付けや倒壊ブロックの整理、災害で出たごみなどの整理、室内外の整理・清掃などの作業に当たった。登録者数は290人。そのおよそ9割が高校生や大学生であった。彼らは「少しでも役に立ちたい」という思いを行動で示した。この動きはきっと、白石の未来につながっていくはずだ。

被災地 白石がより大きな被災地を支援

ライフラインが完全に復旧しない中、より被害が大きい自治体への支援に動いた。(財)白石青年会議所の皆さんが、全国の青年会議所から集まった支援物資を山元町や亶理町の避難所などへ数日にわたって運んだ。福島県南相馬市から原発事故のために避難した方々には、少しでも元気になってもらおうと奥州白石温麺協同組合から白石温麺が提供された。

非常事態に生まれた「絆」は、きっと一生のつながりとなっていくに違いない。



1_南三陸町に物資を搬送 2_白石青年会議所の皆さんが山元町を支援 3_福島県南相馬市からの避難者に白石温麺を提供（やまぶき亭）

「市内商店街・直売所」が活躍



▲城下広場で野菜などを販売したパーバ工愛市

食糧不足という非常事態で活躍したのが、市内の商店街や直売所などの小規模商店だ。品数こそ震災前よりも少ないものの、独自の流通を生かし懸命に店を開けた。スーパーやコンビニなども建物が被害に遭っている中、駐車場などを利用して食料や生活用品を販売した。「少しでも皆さんのもとへ提供したい」という思いが、店を開ける原動力となった。

支え合いを生み出した

「ヒューマンパワー」

未来へつなぐ

「希望の光」



市内の幼稚園・小学校で 延期していた卒園式・卒業式を開催

地震の影響で、3月15日に予定していた市立幼稚園の卒園式、3月18日に予定していた小学校の卒業式を延期することになった。

第一幼稚園は3月29日、第二幼稚園は3月30日に卒園児と保護者、先生で卒園式が行われた。第一幼稚園の卒園式では、樋渡佐智子園長から卒園児一人一人に修了証書が手渡された。そして、卒園児たちの元気な歌声が園に響いた。

小学校の卒業式は全体では行わず、児童と保護者が都合の良い時間に学校を訪れ、校長室で卒業証書を渡すこととなった。

3月22日、家族で白石第一小学校を訪れた半田久美さん（東大畑）は、校長室で佐藤茂廣校長から卒業証書を手渡された。地震の時は体育館で卒業式の練習中だった。地震から11日後、



久美さんは、友達みんなで寄せ書きした色紙をお世話になった先生にプレゼントした。先生は涙を流して喜んだ。

深谷小学校では、卒業生の保護者たちが連絡を取り合い、時間を合わせて集合することにした。3月24日午前10時、卒業生13人が校長室に集まり卒業式が行われた。

丸山千佳子校長から一人一人に卒業証書が手渡され、一人一人に学校での思い出とお祝いの言葉が送られた。そして、「今回の地震や津波でたくさんの方が亡くなり、家も道路も壊れてしまった。これを直すにはみんなの力が必要です。勉強や部活に励んで日本を元気にしてください」と卒業生にエールを送った。式の最後に、6年生を担当した高橋研一先生が、「生きるために生まれてきた命です。その命を大切に生きていくてください」と卒業生に話した。

子どもたちは未来を輝かせるための「希望の光」。子どもたちの笑顔は白石を、そして日本を元気にさせる。そのためにも、子どもたちの笑顔があふれるような、そんな白石を未来へ残していきたい。

子どもたちの笑顔で大人を勇気付けて



深谷小学校
まるやま ちかこ
丸山千佳子校長

地震後すぐ、地域の皆さんが自分のことだけでなく人のためにいろいろなことをしてくれました。子どもたちには笑顔を忘れないでほしい。そして、勉強して友達といっぱい触れ合って自分を豊かにし、すてきな社会を作る人間になってください。



東中学校1年（白一小卒）
はんた くみ
半田 久美さん

おじいちゃんちが石巻市で大変でしたが、無事でよかったです。卒業証書をもらうことができてうれしかったです。中学校では部活を頑張りたいです。



福岡中学校1年（深谷小卒）
あべ みどり
阿部 翠さん

3月18日に本当の卒業式はできなかったけど、みんなと一緒に卒業証書をもらえてうれしかったです。中学校では部活や英語の勉強を頑張りたいです。

笑顔あふれる子に成長してほしい

3月11日午後2時7分、地震のあったおよそ39分前、白石にひとつの命が生まれた。山崎高寿さん・尚子さん（城北町）の次女りちゃん（りらちゃん）は、家族に温かく見守られながらすくすくと成長している。

尚子さんは、「出産後、部屋に戻るエレベーターの中で地震に遭いました。すぐく揺れましたが、看護師さんがベッドを押さえながら声を掛けてくれました。今思うと『出産中だったら』どうしようかと…。本当に運が良かったです」と地震直後の様子を話す。そして、「みんなには『たくましく育つね』と言われます。確かにそんな気がしますね」と冗談交じりに話した後、「親戚や友人が、全国からおむつなどを送ってくれました。本当に感謝しています」と続けた。最後に、「笑顔でいつもニコニコしている子になってほしいですね」とりらちゃんへの思いを話してくれた。

病院の地震対策と非常用発電のおかげで、そこまでの不自由は感じなかったと尚子さんは言う。しかし、災害時に欠かすことができない機関が機能するために、危機管理を見直す必要があるのは確かだ。未来へつなぐために、私たちがすべきことを本気で考えなければならぬ。



▲りらちゃんを優しく見つめる尚子さん

たくさんのご支援・ご協力をありがとうございます

113カラオケ会、330-A地区ライオンズクラブ有志、JAみやぎ仙南農協、NEXCO東日本、朝日新聞、朝文堂、アツギ、ウエルパーク、北海道登別市、神奈川県海老名市、北海道札幌市白石区、オーストラリア・ハーストビル市、カキヤ、公立刈田総合病院、白石警察署、白石消防署、かまどや、きちみ製麺、加次食品、群馬県、群馬県地域防災センター、コカコーラ柴田仙南営業所、国際ソロプチミスト海老名、斎藤建設、日本不動産研究所、蔵王ピクルス、サッポロ一番仙台支店、佐藤こうじや、サンインテルネット、サンヨー食品、自衛隊、スーパービッグ、みやぎ生協、関谷薬局、セコム、仙加苑、ソニー白石セミコンダクタ、大上、ダイドードリンコ、高野製麺、高橋建設、東北電力白石営業所、トーカドエナジー、ドコモショップ白石店、ドリームズハート、長野県上田市、ニチレイフーズ、日清食品、日本赤十字社、群馬県沼田市、農林水産省、八海クリエイツ、ファミリーマート蔵王駅前店、福島県国見町社会福祉協議会、宮城県、宮城県倉庫協会、宗像会計事務所、メークス、ヤクルト白石センター、山崎製パン仙台工場、ヤマザワ、山田乳業、白石川西堀農園愛護会、雪印種苗、ヨークベニマル、白石モーター、東海理化、西松屋チェーン、フクダ、富士薬品、大沼焼麩店、神奈川県海老名市議会、東京都管工事工業協同組合水道局請負工事連、北海道登別市議会、中央特殊興業、聖運寺、海老名市都市間交流協会、北海道札幌市白石区ふるさと会、首都高電気メンテナンス、大庭スポーツ、川井石油、丸山、羽山自動車工業、上西産業、平間栄商店、NECトーキン、鎌先温泉旅館組合、小原温泉旅館組合、宮城交通、白石市管工事業組合、福岡県、福岡県大牟田市、福岡県飯塚市、福岡県大野城市、福岡県直方市、福岡県春日市、長崎県、長崎県長崎市、熊本県、熊本県熊本市、熊本県八代市、白石市建設職組合、白石市左官組合、宮城建築士会白石刈田支部、仙南環境公社、白石市医師会、白石歯科医師会、宮城県歯科医師会、宮城県薬剤師会、白石商工会議所、白石青年会議所、奥州白石温麺協同組合、白石戦國武将隊奥州片倉組、山崎パナラ、森川智之、白石市民生委員児童委員協議会の皆さん、白石市災害ボランティアの皆さん、各小中学校・高校・公民館の皆さん、各自治会・自主防災組織・消防団の皆さん

※ そのほかにも個人の方々から多くのご支援・ご協力をいただきました。記載漏れやお名前に間違いがありました場合はご了承ください。また、敬称は略させていただきます。

（平成23年3月31日現在・順不同）



地震当日の午前は市内中学校の卒業式だった。式を終えた生徒たちは、式の余韻に浸りながらも家族や友人とともに新しい人生に夢をふくらませていた。しかし、あの日を境に白石そして日本全体が一変した。

それでも時は進み、人は前に歩き続ける。そして感じる。「本当に大変なのはこれからかもしれない」と…。

白石がどのように生まれ変わるか、復興への道は決して平坦ではないだろう。だからこそ、白石の真価が問われている。支援していただいた皆さんのためにも、今こそ「白石力」を見せるとき。復興への「想い」はみんなに伝わり、「希望」へとつながっていく。

頑張ろう白石！
頑張ろう宮城！
頑張ろう東北！
頑張ろう日本！

心をひとつに一体となって。10年後の自分に胸を張れるように、今を生きよう！

生活再建を支援する「被災者生活再建支援金」

☎福祉事務所 ☎22-1400

■対象者

- 次のいずれかの要件を満たすこと
- ①住宅が全壊した世帯
- ②住宅が半壊、または住宅の敷地に被害が生じ、その住宅をやむを得ず解体した世帯（住宅の敷地被害などで解体した場合は「全壊」扱い）
- ③災害による危険な状態が継続し、住宅に居住不能な状態が長期間継続している世帯
- ④住宅が半壊し、大規模な補修を行わなければ居住することが困難な世帯（大規模半壊世帯）

■支給額

住宅の被害程度に応じて支給される基礎支援金と、住宅の再建方法に応じて支給される加算支援金の合計額となります。

区 分		A 基礎支援金 (住宅の被害程度)	B 加算支援金 (住宅の再建方法)	計 A + B
複数世帯 (世帯の構成員が複数)	全壊世帯	100 万円	建設・購入 200 万円 補修 100 万円 賃借 50 万円	300 万円 200 万円 150 万円
	大規模半壊世帯	50 万円	建設・購入 200 万円 補修 100 万円 賃借 50 万円	250 万円 150 万円 100 万円
	全壊世帯	75 万円	建設・購入 150 万円 補修 75 万円 賃借 37.5 万円	225 万円 150 万円 112.5 万円
	大規模半壊世帯	37.5 万円	建設・購入 150 万円 補修 75 万円 賃借 37.5 万円	187.5 万円 112.5 万円 75 万円

■申請期間

基礎支援金：平成24年4月10日(火)まで、加算支援金：平成26年4月10日(木)まで

■申請に必要なもの

区 分		全 壊	半壊解体	敷地被害 体	大 規 模 半 壊
基礎支援金	①り災証明書	○	○		○
	②解体証明書または減失登記簿謄本 敷地被害証明書類（写真など）		○	○ ○	
	③住民票（外国人登録済証明書）	○	○	○	○
	④預金通帳の写し	○	○	○	○
加算支援金	⑤契約書等の写し	○	○	○	○

※発行窓口 り災証明・解体証明書：税務課、減失登記簿謄本：法務局

応急的な住宅の修理を支援する「住宅の応急修理制度」

☎建設課 ☎22-1326

■対象者

- 次のすべての要件を満たすこと
- ①大規模半壊または半壊の被害を受けたこと。なお、全壊の場合でも、応急修理をすることにより、居住が可能となる場合は対象です。
- ②応急修理を行うことによって、避難所などへの避難を要しなくなると見込まれること
- ③応急仮設住宅（民間賃貸住宅を含む）を利用しないこと

■応急修理の内容

住宅の居室、炊事場、便所など、生活に欠くことのできない部分の破損箇所に限ります。

■工事の限度額

52 万円（超えた分は自己負担）。

地震の被害と直接関係のない部分、内装工事、家電製品または家具などは対象外です。

■所得制限など

詳しくは、お問い合わせください。

住宅災害復旧等補助金

市内に居住し、住民登録または外国人登録をしている方が、自己の住宅について 20 万円以上の修繕および補修を市内施工業者に発注する場合に、その経費の一部を助成します。

●対象者

次のすべての要件を満たすこと

- ①世帯全員が市税などに滞納がない
- ②市で実施している他制度の補助金、助成金、保険給付金を受けていない工事

③平成24年3月30日（金）までに修繕および補修を完了し、完了実績報告書を提出できる方

●助成金額 助成となる工事経費の10割に相当する額（上限10万円）。

●対象住宅 持ち家で、自己が居住する個人住宅または併用住宅

●申請に必要なもの

- ①建物の所有権を証明できる文書の写し
- ②工事前の住宅状況を明らかにする写真
- ③工事見積書の写し
- ④工事の内容を明らかにする図面

☎建設課 ☎22-1326

被災した軽自動車などの課税を停止します

地震や津波で使用不能・所在不明となった軽自動車などの平成 23 年度以降の課税を停止します（使用可能となった場合は後日課税）。申請が必要となりますので、詳しくはお問い合わせください。普通自動車は大河原県税事務所（☎0224-53-3113）にお問い合わせください。

☎税務課 ☎22-1313

「土地価格等縦覧帳簿」などの縦覧を延期します

「土地価格等縦覧帳簿」「家屋価格等縦覧帳簿」の縦覧を延期します。

●縦覧期間 6月1日(水)～30日(木) ※土・日を除く

☎税務課 ☎22-1313

固定資産税の第1期納期限を6月末日に変更します

納付書の発送は6月となります。

☎税務課 ☎22-1313

国民健康保険医療費の自己負担金を減免します

●対象者

- ①被保険者などが所有する住宅などの損害金額（保険などにより補てんされる金額を除く）が10分の3以上で、被保険者などの合計所得金額が1,000 万円以下の世帯
- ②被保険者などが死亡した場合や障害者になった場合で、一部負担金の支払いが困難な世帯

●申請期間

9月10日（土）まで

●対象期間

申請した日の属する月から3カ月

●申請に必要なもの

申請書、り災証明書、被保険者証

●減免割合

①②で減免割合が異なります。詳しくは、お問い合わせください。
☎健康推進課 ☎22-1362

市県民税、固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料を減免します

●対象者

- ①納税義務者が死亡したり、生活保護を受けることになったり、障害者となったとき
- ②全壊、大規模半壊と判断された一定所得以下の方

※半壊でも対象となる場合があります。対象者には別途お知らせします。

●減免の対象

平成 23 年度の課税額

●申請期間

納期限の7日前まで

※市県民税、固定資産税は6月、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料は7月に納付書を送付しますので、納付書送付後に申請してください。

●申請に必要なもの

市税減免申請書、り災証明書、印鑑

●減免割合 詳しくは、納付書発送月の広報紙などでお知らせします。

☎税務課 ☎22-1313

後期高齢者医療費の自己負担金を減免します

●対象者

次の①～③のいずれかに該当し、市民税が減免がされるなど、被保険者が自己負担金を支払うことが困難と認められる場合

- ①被保険者などが所有する住宅などの損害金額（保険などにより補てんされる金額を除く）がその住宅、家財などの価格の5割以上に相当する額の損害を被ったと認められるとき
- ②被保険者などが死亡した場合や、障害者になった場合で、一部負担金の支払いが困難な世帯

③世帯主の事業もしくは業務が休業止され、損失が生じたまたは失業したことにより、収入が著しく減少した場合

●申請期間

災害翌日から1年以内

●減免などの期間

申請した日から6カ月以内

●申請に必要なもの

申請書、り災証明書、収入申立書、被保険者証および関係書類

●減免割合 所得金額などで減免割合が異なります。詳しくは、お問い合わせください。
☎健康推進課 ☎22-1362

節水にご協力ください

岩沼市にある県南浄化センターが壊滅的な被害を受け、汚水の処理ができない状況です。また、市の下水道設備も被害を受け流れにくい状況です。

下水道への排水をできるだけ減らすよう節水にご協力をお願いします。

☎上下水道事業所 ☎25-5522

国民年金保険料を減免します

■被災による特例免除

住宅、家財、その他の財産について、おおむね2分の1以上の損害を受けられた方などは、国民年金保険料が免除になります。申請が必要となりますので、詳しくはお問い合わせください。

●申請期間 7月29日（金）まで

■失業による特例免除

退職（失業）による特例免除があります。雇用保険受給資格者証など失業していることを確認できる公的機関の証明の写しが必要です。

☎大河原年金事務所 ☎0224-51-3113
市民課 ☎22-1312

保険証を紛失された方へ

保険証の紛失などで、医療機関に提示できない場合は、氏名、生年月日、住所、連絡先などを申し出ることにより受診できます。

また、住家の全半壊、死亡、重篤な傷病、主たる生計維持者が行方不明、業務の廃止・休止、失職、原発事故による避難など、一定の要件に該当する場合、5月受診分まで、窓口で支払う一部負担金が猶予・免除となりますので、医療機関などに申し出ください。

☎健康推進課 ☎22-1362

介護保険サービス利用料を減免します

利用者負担額を、損害などの割合により減免します。

※給付対象外の食費、居住費を除く。
●対象者 居住する住宅の損害割合が、り災証明書により10分の3以上と判定された要介護被保険者（要介護認定を受けている方）など
※保険金などにより補てんされるべき金額がある場合を除く。

●申請に必要なもの 介護保険被保険者証、り災証明書、印鑑

●対象期間 平成 23 年 3 月サービス利用分から平成 24 年 2 月サービス利用分まで

☎長寿課 ☎22-1361

2月14日、第391回白石市議会定例会で、風間康静市長が施政方針演説を行い、平成23年度の市政運営の基本的な考え方を明らかにしました。

※施政方針は震災前に表明したものです。見直しが必要な事業などありますが、早期に震災前の活力を回復させ、さらなる市民生活の発展を目指します。

■まちづくりの将来像
「第五次白石市総合計画」

●将来像（白石の目指すべき姿）
「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまち」を将来像として、市民総参画のまちづくりを推進し、次の世代に誇りを引き継ぐことができる白石の実現を目指します。

●まちづくりの3つの分野
将来像の実現に向けて「人」「暮らし」「環境」をまちづくりの3つの分野として位置付け、新しい時代のまちづくりに果敢にチャレンジしていきます。

●まちづくりの5つの目標
柱となる政策の基本的な考え方や方向性を示すものです。
・豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち
・安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち
・市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち
・産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち
・美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち

■企業誘致が最重要課題

雇用や所得の創出など地域活性化への起爆剤として期待されている福岡深谷工業団地が3月に完成しました。

平成23年度の最重要課題として企業誘致に全力で取り組みます。企業における投資環境は、リーマンショック時と比較して、幾分持ち直してはいるものの、まだまだ企業の業況判断には慎重さが見受けられますが、本市の優遇制度や交通インフラなど企業立地環境の積極的なアピールに努め、製造関連企業などの誘致促進に向けて、自身のトップセールスはもちろんのこと、市議会の皆さまとともに、宮城県をはじめ関係機関と連携し、全力で取り組んでまいります。

また、平成23年度からは、情報収集と企業誘致のノウハウを学ぶなど宮城県との連携を強めるため、産業立地推進課に職員を派遣することとしています。

さらに、福岡深谷工業団地へのアクセス強化を図るとともに、地域の快適な生活基盤を確保するため、市道鳥越線をはじめとする工業団地関連道路を整備し、企業誘致の促進を図ります。

■豊かな感性と人間性を育み、
伝統文化を継承するまち

「感性と人間性」
人と自然、人と暮らしの営みのなかで育まれる、市民一人一人の個性や感性を大切にし、まちづくりに活かしていきます。

また、かつての結いの精神にみられる支え合いや助け合い、地域の絆を再生していきながら、人間性豊かな社会の実現を目指します。

「文化を継承」
今に息づいている豊かな生活文化、城下町としての伝統文化などを再評価し、次世代に継承していきながら、ニーズの変化に適合させて、白石のアイデンティティー（白石らしさ）の形成に取り組みます。

●学校教育の充実

平成22年度繰越事業として、小中学校に配置している教育用コンピュータ410台の更新を行うとともに、理科室と兼用となっている深谷小学校家庭科教室を新築し、学校教育環境を整備します。

また、個性ある教育環境の充実を図るため、英語教育の充実やアニメなどデジタルコンテンツの活用推進を図ります。

■主な事業 企業誘致関連

●企業立地奨励金
事業費…2,076万8千円
製造業などを営む企業者が、市内に工場などの新設、または、増設に要した投下固定資産（土地・家屋・償却資産）に係る固定資産税・都市計画税に相当する額を当該企業者に対して交付します。

●企業立地等に伴う転入者支援補助金
事業費…60万円

本市への企業の新規立地や事業所などの集約に伴う転入者が、市内賃貸住宅に入居した場合の家賃の一部について、一人につき月額1万円を上限として3年度間に限り、当該転入者を雇用する企業者に対して交付します。

●福岡深谷工業団地関連道路改良事業
事業費…1億5,600万円

市道鳥越線や市道佐久来1号線、市道田中前1号線は、福岡深谷工業団地と国道4号および深谷西地区と深谷東地区を結ぶ基幹道路であるとともに、深谷小学校への通学路、生活道路としても重要な路線です。

現在も白石インター周辺の工場などへの通勤車両が増加して

●生涯学習の推進



市民一人一人の個性や感性を十分に発揮し、生涯学習のまちづくりとなるよう、社会教育施設における主催講座の充実を図るとともに、スポーツ大会を通じて、市民が生涯学習に接する機会を広く設けます。

また、「生涯学習の場」「地域間交流の場」において、市民が一流の音楽家のコンサート鑑賞やプロスポーツ競技を観戦する機会を確保します。

さらに、アウトリーチ（出前）コンサートなどにより、出演者などとふれあえる機会を創出し、文化・スポーツの振興を図るとともに、各種スポーツ大会などのイベント開催に協力し、交流人口の拡大を図ります。

●歴史文化の継承と創造

白石城やすまいるひろばなどを主とした城下町回遊ルートなどを活用し、歴史情緒を体感できる環境の整備に努めます。

白石城歴史探訪ミュージアムで定期的な企画展示会の開催、武家屋敷で七草の会など、伝統行事の再現を行います。

白石の歴史、文化の紹介を通じて、市民にはふるさとの誇りを、また、白石を訪れた方々には白石の歴史的魅力を感じる場を提供します。



武家屋敷「七草の会」

■安心して子どもを産み育て、
心やすらかに暮らせるまち

「安心」
安心して子どもを産み育てられる環境や支援体制を充実し、定住人口（生産年齢人口）の拡大を目指します。

また、一人暮らしの高齢者世帯や要介護者などのセーフティネットを充実し、だれもが安心して暮らせる長寿社会の実現に取り組みます。

「心やすらかに暮らせる」
市民のための保健・医療・福祉施策を充実し、子どもから高齢者まで、年齢を重ねても生涯心やすらかに暮らせるまちづくりを進めます。

また、生活に身近な地域の支え合いの力を結集し、生きがいと幸福感を味わえるコミュニティの強化に取り組みます。

●子育て支援

人口減少に歯止めをかけた定住人口の拡大を図るためには、安心して子どもを産み育てられる環境や支援体制をより一層充実させる必要があります。

乳幼児の通院、入院にかかる医療費助成制度や不妊治療の医療費の一部を助成する「特定不妊治療費助成事業」を継続しま

す。

その他にも「赤ちゃん誕生応援事業（妊婦健康診査費助成事業）」を拡充し、妊婦健診14回の助成に加え、新たにヒト白血病毒ウィルス1型（HTLV-1）抗体検査を追加します。

保育の充実として、3歳未満児の入所希望が増加していることから、現在、南保育園と西保育園で実施している0歳児保育を北保育園においても新たに開始して、待機児童の解消を図ります。

また、保護者の就労の多様化に対応するため、深谷保育園の保育時間を30分延長するなど、保護者のニーズに合わせた子育て支援の充実を図ります。

保育園、幼稚園にかかる多子世帯に対する費用の負担軽減などの事業を実施し、子育て家庭の経済的な支援を図ります。

放課後児童クラブは、現在実施中の4カ所のほか、大平地区においても実施します。

大平地区の放課後児童クラブは、地域が実施主体となって運営し、地域全体で児童を支援します。

また、放課後子ども教室は、世代間交流の場として、地域の高齢者など幅広い世代の方と児童の交流の輪を広げることが目的に今後も継続します。



東北自動車道白石ICに隣接する福岡深谷に工業団地を造成

●高齢者支援



「健康で生き活きと、住み慣れた地域で自己実現できる、高齢者が輝くまち」を基本理念とした第4期事業計画（白石市高齢者保健福祉計画および第4期介護保険事業計画）の最終の年です。環境の整備や介護予防を主とした自立への支援と権利擁護の推進に努めます。

高齢者世帯や一人暮らしの高齢者が自立した生活をできるだけ継続できるように、「生活サポート事業」や「介護予防教室」を実施します。

また、「ほっときやっするパス」サービスや「生きがいデイサービス事業」による福祉の郷構想を推進し健康寿命の延伸を図ります。

高齢期になっても自己実現と社会参加を促進するため、老人クラブ活動やシルバー人材センター事業の支援を引き続き行います。

●障がい者支援

平成21年3月策定の白石市障害福祉計画に基づき、障がい者の自立に向けた体制の整備に引き続き努めます。

●地域医療の確立

市民の健康、生命にかかわる安心、安全を保証するため、公立刈田総合病院の経営健全化を支援するとともに、白石市医師会と連携した地域医療ネットワークの拡充に努めます。

●健康づくり支援



国民健康保険の健全な運営を図るため、収納率の向上に努めるとともに、特定健康診査、特定保健指導や平成22年度から開始した国民健康保険被保険者の「人間ドック費用助成事業」を継続し、市民の健康増進を目指します。

■市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち

「市民が主役」市民が主役になれる舞台を準備していきます。

市民が自らの夢の実現や志をもって主体的に地域の課題解決に取り組む地域づくりを支援していきます。

また、やる気応援事業やコミュニティ強化支援を足がかりとして、包括的なまちづくり協議会など、新たな公共の創造に取り組みます。

「交流を楽しむ」

市民・企業・団体・NPO・行政などが協働しやすい環境を整えていきます。

また、交流ネットワークから新たな発見と創造が生まれ、地域づくりの醍醐味や楽しみを実感できる、成熟したパートナーシップの構築を目指します。

●市民活動の支援

「やる気応援事業」を継続し、市民活動ネットワークの輪を広め、まちづくりを推進します。

また、デジタルコンテンツを活用した地域づくり活動支援として、白石市のキャラクター「こじゅうろうくん」や「ポチ武者こじゅうろう」アニメ「白石

の妖精ぴち」などを活用するとともに、ホームページなどでの情報発信を行います。

さらに、道路の清掃などのボランティア活動に意欲を持つ地域住民や企業の方々や行政とのパートナーシップによる「しろいしサンキューロード・プログラム」を継続実施し、住民参加のまちづくりや良好な道路環境づくりを図ります。

登別市、海老名市やハーストビル市との姉妹都市交流、札幌市白石区との友好都市交流は、白石市姉妹友好都市交流協会、白石市国際交流協会を中心に、次代を担う青少年のスポーツ・文化活動の交流親善や国際感覚豊かな青少年を育成する事業を展開します。

●地域コミュニティの活性化

指定管理者制度に基づき地区公民館の管理運営を行っているまちづくり協議会が行う文化・スポーツ・生涯学習などの地域コミュニティ活動に助言支援を行い、活性化を図ります。

さらに、第五次総合計画の地域計画において各地区が設定した「まちづくり宣言」を実現する具体的な支援方策や「まちづくり交付金」などの資金的支援の制度設計に着手します。

■主な事業 緊急経済対策雇用創出関係

離職などを余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者などに対して、次の雇用まで短期の雇用・就業などの機会を創出・提供するなどの事業を実施。これらの方の生活の安定を図るとともに地域の雇用再生のために、地域求職者などを雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施し、地域における継続的な雇用創出を図ります。

●緊急雇用創出事業

事業費…2,809万9千円
介護予防等強化事業など9事業
新規雇用者数 33人

●ふるさと雇用再生特別基金事業

事業費…1,512万6千円
観光コーディネート育成事業など4事業
新規雇用者数 8人

●重点分野雇用創出事業

事業費…7,612万6千円
アニメーション作品制作による観光および地域振興事業など7事業
新規雇用者数 39人

●地域人材育成事業

事業費…3,765万円
介護雇用プログラム事業など2事業
新規雇用者数 14人

●市場跡地活用整備事業補助金

事業費…2,500万円
出荷が困難となった中小農業者を救済するために、特定非営利活動法人小十郎まちづくりネットワークが市地方卸売市場跡地を整備し、直売所などの運営を行います。

市地方卸売市場跡地を整備する費用の一部を当該法人に助成し、農業を中心とした市内産業の振興を図ります。

●住宅リフォーム（ほっと住居）補助金

事業費…500万円



住宅の安全性や耐久性、居住性の向上と市内住宅関連企業を中心とする地域経済の活性化に資するため、市民が所有し自ら居住する住宅を、市内の施工業者を利用して修繕工事などを行った場合に、その経費の一部を助成します。

■産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち

「新しい価値」

今ある地域資源を最大限に活用し、農林業や商業、工業、観光等の地場産業を活性化し、地域の雇用の維持・拡大を図っていきます。

また、業種の垣根を越えて、「強み」や「弱み」を補完し合い、切磋琢磨しながら新しい価値を創造し、市場形成と産業活性化に取り組みます。

「創造し続ける」

若者が魅力や働きがいを感じられるビジネスモデルを開発し、モノづくりや観光と結び付けて情報発信し、地産地消・地産外消を展開することにより、新たな白石のイメージ形成やブランド構築につなげていきます。

●定住化の促進

「白石市定住促進奨励金交付事業」のほか、平成21年度から開始した「白石市転入者等支援市営住宅補助金交付事業」、「白石市新築家庭家賃補助事業」、「白石市営住宅第3子世帯優先入居制度」の3事業、平成22年度から開始した「企業立地等に伴う転入者支援補助金交付事

業」も、定住・転入促進に効果が出ていることから継続して実施します。

さらに、空き家情報やイベント情報、白石城や武家屋敷など歴史的、文化的魅力をホームページやマスメディアを通じて発信し、定住化の促進、交流人口の拡大、地域の活性化を図ります。

●雇用の確保

「緊急雇用創出事業」、「ふるさと雇用再生特別基金事業」、「重点分野雇用創出事業」、「地域人材育成事業」を通して、短期の雇用・就業などの機会を創出・提供します。

●中心商店街の活性化

地元商店組合などが行う中心商店街活性化に関する事業などに対し、商店街活性化対策助成金を活用するなど、商工会議所との連携を図りながら、賑わいの創出を支援します。

また、「中心市街地の賑わいづくり研究会」などが行う商品開発提案などの地域活性化策を支援します。経済対策は、中小企業振興資金における融資限度額2,000万円を維持し、保証料の全額補給を継続します。

●農林業の振興



本市の農業従事者は、全就業者の6・4割を占め、農業は本市の重要な基盤産業です。しかし、農業所得の減少や離職者の増加、また、担い手の減少・高齢化など、さらには有害鳥獣の被害により農地の荒廃に歯止めがかかりません。

これらに対応すべく、地域農業の活性化を支援する「地域農業いきいき推進事業」を継続して実施し、地域農業の独自性・多様性を醸成させることで、新しい形の農業を育成します。

また、農業者の所得向上を目標に、農畜産物の販路拡大を行えるよう、農畜産物直売所に対する支援策を展開します。

さらに、農畜産物の流通・取引が国際的に標準化されようとしている中、農畜産物の販路拡大が、自身の高付加価値化や新



TVアニメ「戦国BASARA 弐」より
©2010 CAPCOM/TEAM BASARA

●製造業の振興

たな流通体系構築へとつながり、6次産業化の推進へと発展できるよう、宮城大学をはじめ、農業関係者・関係機関との連携強化を図り、産業としての農業の再興を図ります。

野生鳥獣による農畜産物への被害が拡大していることから、持続的な農業振興を図るため、「農林作物鳥獣害防止対策事業」を継続実施します。

民間企業と協力し、温麺など伝統産品のパッケージにアニメやゲームのキャラクターとして人気の高い片倉小十郎公をデザインした商品開発の支援を行います。

また、白石城、小十郎プラザなどでの販売やインターネットを活用した情報発信を通じて、新たな購買層を創出する取り組みを支援します。

●交流人口の拡大

近年の歴史ブームにより片倉小十郎公が全国的に認知され、多くの観光客が来白しています。加えて昨年は白石戦國武将隊「奥州片倉組」が結成されるなど、戦国観光と称される分野も観光素材となっています。従来の蔵王山麓自然観光、温泉などの「泊」との連携を強くしたテーマ性ある観光ルート化を推進し、また、四季折々のイベントを市民の皆さまとともに盛り上げ、交流人口の拡大を図ります。



鬼小十郎まつり

■美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち

「美しい自然」白石は白石川や蔵王連峰などに代表される美しい自然、田園風景や街なかの掘割などの美しい景観に恵まれており、これらの自然や景観を地域の宝として受け継ぎ、心癒やされるまちづくりを推進していきます。

「安全・快適」自然災害や犯罪被害などの社会的な不安に対して、地域の支え合いでその抑制に努めるとともに、公的な支援体制を強化し、安全で快適なまちづくりを進めます。

また、これまで整備されてきた都市施設と高速交通網などのネットワークを活用することにより、便利で快適なまちの実現に取り組みます。

●防犯・防災対策の充実



防災・防犯対策をより充実させる必要があります。自助である災害への備えの啓発や共助である地域住民同士での助け合いが必要不可欠なことから、自主防災組織の育成支援や災害想定訓練への支援を継続して実施します。

また、災害に立ち向かうとき、大きな力を発揮するのが消防団です。本市消防団は、県内屈指の消防力と機動力を誇っておりますが、消防団員不足が全国的な課題となっているため、自治会との連携はもちろん、消防団協力事業所の認定を行い団員の確保を図ります。

「しろいし安心メール」は、防災や防犯に関連した情報などを、携帯電話のメールサービスを利用して発信することによって行政と市民が情報の共有を図り、防災、防犯意識を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

交通安全対策は、関係機関、関係団体との協力をいただき、交通指導隊による交通安全教室などを計画的に開催し、交通事故撲滅に努めます。

●環境対策の推進

きれいで豊かな水をはじめとする恵まれた自然環境を次世代に引き継ぎ、地球規模の課題である温暖化対策のためにも、環境に配慮した「もったいない運動（しろいしエコプロジェクト）」に引き続き取り組みます。

環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、市民の環境に対する意識の高揚やクリーンエネルギーの普及推進を図るため、平成22年度に創設した「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」を引き続き実施します。

また、市民の皆さまなどに御協力いただきリサイクル報奨金などの環境保全に貢献する活動へ助成し、さらなるごみの減量化とリサイクルを推進します。

■主な事業 子育て支援 観光振興・地域交通

●放課後児童クラブ補助金 事業費…125万9千円



大平地区に大平公民館運営会議が実施主体となって運営する「大平放課後児童クラブ」が4月から開設。市では、保護者の就労などにより昼間の家庭において保護を受けることができない大平小学校に通学する登録児童に、小学校の余裕スペースを活用して放課後に児童が安心して活動できる場を確保し、児童の健全育成と保護者の就労支援を図るため、運営費の一部を助成します。

●白石市観光大使設置費 事業費…20万円

本市の文化、歴史、豊かな自然環境、特性を生かした地域ブランドや観光情報を広く紹介し、本市の観光振興とイメージアップを図るため、白石市観光大使を設置します。

●市民タクシー事業

事業費…217万6千円

公共交通空白地域において、市役所などの公共施設の利用や通院、中心商店街利用のための交通手段として、地域内拠点と城下広場間を乗り合いによるタクシーの運行を行っています。平成23年度は、これまでの路線に加えて、要望のある地域とルートや運行時刻などで合意形成がなされた「小久保平線」「小下倉線」「大平坂谷線」の3路線の試験運行を実施します。

さらに、快適な市民生活の向上と自然環境の保全のため、合併処理浄化槽の普及を図る設置助成事業を継続実施します。

●住環境の整備

新規事業として、市民が所有し自ら居住する住宅を、市内の施工業者を利用して修繕工事などを行った場合に、その経費の一部を助成する「ほっと住居事業」を創設します。

そして、住宅の安全性、耐久性や居住性の向上、市内住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図ります。

●道路の整備

朝夕の混雑が慢性化している田町交差点付近の渋滞緩和を図るため工事を行っていた「沖の沢郡山線」が3月に完成し、移動の利便性が高まります。

●交通網の整備

移動手段を持たない高齢者や子どもなどの公共交通機関を確保するため、収支のバランスを考慮しながら、効率がよく、効果的な市民バスや市民タクシーの運行を行い、便利で快適なまちを目指します。

■効率的な市民サービスの推進

●行財政改革の推進

厳しい財政状況下でも持続可能な効率的で質の高い行政サービスの実現を目指し、引き続き「白石市行財政改革推進計画（集中改革プラン）【改訂版】」に基づき、業務効率化、歳入確保、歳出削減など、より一層の行財政改革を推進します。

また、4月から「あしたは白石」に指定管理者制度を導入。新たに市民有志により設立されたNPO法人に同施設の管理運営を委ねるのを始め、NPO、各種ボランティア団体などの育成・支援を図り、行政と市民がそれぞれの役割を分担し補完し合う「成熟したパートナーシップ」の構築を目指します。

●事務事業の効率的な評価

行政の透明性向上と職員の意識改革を図ることを目的として実施してきた「事務事業評価」は、評価対象や指標などの改良により効率的・効果的に評価を実施し、第五次総合計画や予算編成などとの連携も視野に入れながら、市民サービスの維持向上に努めます。



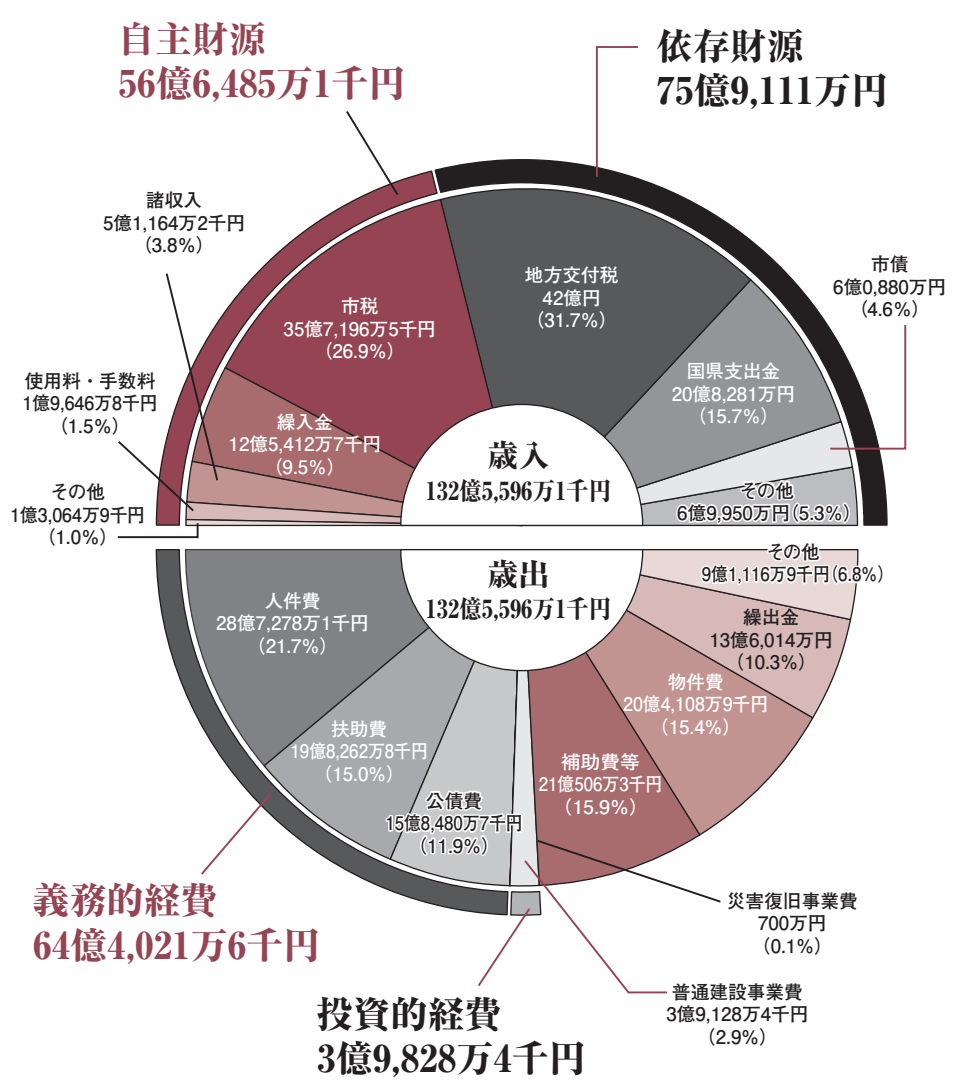
白石戦國武将隊「奥州片倉組」に10人目のメンバーに「阿梅姫」が認定！ 白石城の前で政宗公、景綱公とともに記念撮影

東日本大震災は、今までに経験したことがない大惨事であり、本市においても最大2千人の市民が避難所生活を余儀なくされました。また、公共施設なども甚大な被害を受け、復旧までの道程は遠い状況にあります。しかし、ご支援くださった皆さまの善意に報いるためにも、4月1日、復興対策室を設置し、復興に向け取り組んでいくことにしました。これから白石市、宮城県、東北の復興に向けて、全力を尽くしてまいりますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

白石市長 風間 康静

■目的別グラフ

民生費 42億5,908万3千円 (32.1%)	
・子ども手当	6億9,602万2千円
・保育園などの管理運営や子育て支援費	5億9,585万5千円
・後期高齢者医療費	5億3,990万7千円
・介護保険特別会計繰出金	4億8,790万5千円
・障害者自立支援費	4億4,423万8千円
・生活保護費	4億2,077万9千円
・国民健康保険特別会計繰出金	3億3,231万7千円
・児童扶養手当給付費	1億8,014万8千円
・乳幼児・心身障害児者医療費助成事業	1億3,685万円
衛生費 19億6,533万円 (14.8%)	
・予防接種事業	1億352万3千円
・各種検診事業	1億234万5千円
・母子保健（赤ちゃん誕生応援）事業	3,593万6千円
総務費 17億8,448万円 (13.5%)	
・白石市議会議員選挙費	4,708万2千円
・市民バス運行管理事業	3,906万5千円
公債費 15億8,480万7千円 (11.9%)	
教育費 11億2,839万6千円 (8.5%)	
・学校給食センターの管理運営	2億8,009万3千円
・公民館・図書館などの管理運営	1億5,781万5千円
土木費 10億3,353万5千円 (7.8%)	
・地方道路整備事業	1億7,851万5千円
・住宅リフォーム(はっと住居)事業	500万円
商工費 4億7,288万1千円 (3.6%)	
消防費 4億262万円 (3.0%)	
農林水産業費 3億9,913万円 (3.0%)	
議会費 1億7,430万9千円 (1.3%)	
その他 5,139万円 (0.5%)	



平成23年度

市民1人当たりの市税負担額 (※)

9万4,634円 (前年度比 -8,126円)

平成23年度

市民1人当たりが受けるサービス額 (※)

35万1,198円 (前年度比 +1万9,650円)

※人口37,745人(H23.1.31現在住民基本台帳)で除して算出したものです。

●下水道事業会計

収益的支出 8億6,151万9千円

資本的支出 8億1,961万7千円

家庭、工場の排水による水質汚濁を防止するための公共下水道事業や、農業用水の水質保全のための農業集落排水事業を行うための会計です。

●水道事業会計

収益的支出 9億4,989万円

資本的支出 2億2,100万8千円

水道関係の各種手続き、水道施設の敷設や維持管理などをを行うための会計です。

●企業会計

28億5,203万4千円

独立採算を基本とし、地方公営企業法の全部または一部が適用される公営企業の会計です。

●後期高齢者医療特別会計

3億7,149万円

75歳以上の方の医療給付は、広域連合で運営されています。主に徴収した保険料を広域連合へ納付するための会計です。

●介護保険特別会計

30億2,462万4千円

介護認定を受けた方が、介護サービスを利用したときの給付や、介護予防事業などを行うための会計です。

●国民健康保険特別会計

41億5,898万4千円

自営業など国民健康保険に入っている皆さんの病気、けがの治療などに必要な保険給付を行うための会計です。

●特別会計

75億5,509万8千円

特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

本市では3つの特別会計を設けています。

平成23年度一般会計予算は 132億5,596万1千円

前年度に比べて4.8%の増加。7年ぶりのプラス予算

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた平成23年度予算総額は236億6,309万3千円で、前年度当初予算額と比較すると3.2%、7億4,396万1千円の増額となっています。うち一般会計は132億5,596万1千円で、前年度と比較すると4.8%、6億176万4千円の増額となり、実質規模では7年ぶりのプラス予算となりました。

なお、一般会計予算の内容については、本市のホームページでもご覧いただけます。
●ホームページURL <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/zaisei/yosan/index.html>
◎財政課 ☎22-1332

※現在、東日本大震災で被災された方への生活支援や震災からの復興を最優先に、市長の専決処分により3億円を超える予算を増額し、災害救助事業や災害復旧事業に対応しています。

【一般会計】市の会計の中心となるもので、市行政運営の基本的な経費を計上した会計です。市税などを財源として、社会福祉や環境保全などの事業のほか、学校や道路、住宅などの整備を行います。

●自主財源

自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入する財源のことをいいます。市税、分担金負担金、使用料手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入がこれに当たり、歳入予算に占める割合は、42・7%で56億6,485万1千円になります。前年度当初予算と比較して5億3,291万3千円減少し、割合も0・7ポイント減少しています。

皆さんに納めていただく市税は厳しい経済情勢を反映し、前年度と比較して8・9%、3億5,015万2千円減の35億7,196万5千円を見込んでいます。一番大きい割合を占めている地方交付税は全国ベースで前年度比2・8%の増となっているものの、これまでの交付実績などを考慮して前年度と同額の42億円を見込みました。

財源が不足することから、市の貯金に当たる財政調整基金、減債基金、都市整備基金などから12億5,412万7千円を取り崩して繰り入れるなど厳しい財政状況となっています。

●目的別歳出

民生費の割合が最も高く全体の32・1%を占めています。子ども手当や国民健康保険特別会計、介護保険特別会計への繰出金、広域連合への負担金や特別会計繰出金など後期高齢者医療費関係費、受給者が増加している障害福祉サービス給付費などの扶助費が増加して前年度比13・7%、5億1,453万7千円増加して42億5,908万3千円となっています。

また、第五次白石市総合計画に掲げたまちづくりの5つの目標ごとに体系化した政策を推進するメリハリのある予算を計上しています。

長引く景気の低迷は、本市の市税収入の減収にとどまらず、社会保障関係経費の増加など財政負担を押し上げる要因となっています。このような状況の中、集中改革プラン【改訂版】に基づき、経常経費の徹底的な削減に努めて、市民生活に必須の行政サービスを安定的に提供するための事業費については確実に予算化しています。

また、衛生費は白石市外二町組合負担金等の増額や子宮頸がん等ワクチン接種費用の助成などにより、21・4%、3億4,593万7千円増加して19億6,533万円となっています。一方、土木費は、沖の沢郡山線街路事業の終了などにより、20・3%、2億6,286万5千円減少して10億3,353万5千円となっています。

合言葉は「ダメ。ゼッタイ」 小原中学校で薬物乱用防止教室

2月24日、白石益岡ライオンズクラブ（ゆかざわまこと 糠澤誠会長）主催の「薬物乱用防止教室」が小原中学校（さしはらひろし 佐藤博校長）で開催されました。この活動は、薬物に対する正しい知識を身に付けてもらおうと、同クラブが平成19年から小中学校や高校で開催。この日は、講師の富岡和弘さんが生徒や保護者などに、スライドを使いながら分かりやすく説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。同教室は、学校や団体からの申し込みを受け開催。講師の交通費や謝金などは不要です。詳しくは宮城県仙南保健所（☎0224-53-3119）にお問い合わせください。



▲社会全体の問題として正しい知識を身に付けましょう

ひな人形とともに心温まる空間を 壽丸屋敷ひなまつりコンサート



▲ひな人形とともに歌や語りを楽しむ観客

2月27日、ひな人形がきれいに飾られた壽丸屋敷の大広間で「ひなまつりコンサート」が開催されました。

白石まちづくり(株)と昔むかしを伝える会が共催したこのコンサート。白石市の佐藤美佐子さんと大河原町の雲走範子さんが童謡や歌謡曲などおなじみの曲を歌ったり、民話などを語ったりと、約70人の観客は心温まる空間を楽しみました。

コンサート後は、折り紙でのひな人形づくりを楽しんだり、ホワイトカレー温麺を味わったりして、子どもから大人まで「桃の節句」を楽しみました。

沖縄の熱く優しい音色を表現！ 白石高校エイサー隊が本場の団体と共演

2月12日、沖縄の伝統舞踊「エイサー」を授業で学ぶ白石高校1年生36人が、中央公民館で開催された「創作エイサー隊炎舞太鼓」（うえざとよしひろ 上里好博代表）の白石公演に出演しました。エイサーは、旧白石女子高校で平成19年度から授業に採用。平成20年度から上里さんを講師に迎え、統合後も女子の必修体育で踊り、選択音楽の授業で沖縄の伝統楽器「三線」を学びました。昨年12月にはクラス対抗の発表会も行い、上里さんから出演の依頼があり実現しました。生徒たちは公演のオープニングで登場。約400人の観客の前で堂々と踊り、会場を盛り上げました。



▲息もピッタリ！ 練習の成果を発揮しました！

感謝の気持ちを込めて料理を振る舞う 大平小卒業感謝の会



▲うどんの生地をめん棒で伸ばす児童たち

2月17日、「卒業感謝の会」が大平小学校で開催されました。この会は、卒業を間近に控えた6年生15人が家族や学校行事でお世話になった地域の方に手料理を振る舞って感謝の気持ちを表す恒例行事。児童たちはヘルスメイト白石（たつた 立田ふち子会長）のメンバーの指導を受け、中力粉と塩水を混ぜ合わせて生地を作り、めん棒で伸ばして包丁で切るなど、慣れない料理に苦戦しながら、約50人分の手打ちうどん作りに挑戦。その後、野菜たっぷりの2種類のうどんにして、出来たてのモチモチうどんを食べながら会食を楽しみました。

樋口ときえさん（南町二丁目）・日下ツクヨさん（沢目）が元気に100歳を迎えました

「人との交わりを大切に」 樋口 ときえさん



▲贈呈された袷袢をまとい笑顔のときえさん

元気に満100歳を迎えた樋口ときえさんと日下ツクヨさん。風間市長がお二人を訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。

2月28日に満100歳を迎えたときえさん。大和町に生まれ、結婚後は4人のお子さんを育てました。小学校教員を務められたあとは、さまざまなボランティア活動などでご活躍されたときえさん。「人との交わりと対話を大事にして、毎日、目標をもって暮らしています」「自分でできることは自分でやるという精神で積み重ねた活動が100歳を導いてくれました。感謝の気持ちで生活しています」と笑顔で話してくれました。

3月7日に満100歳を迎えたツクヨさん。越河に生まれ、結婚後は下駄屋を切り盛りしながら、8人のお子さんを育てました。庭の手入れが日課で、「お客さまが来るから」と前日にも庭の枯れ葉拾い。「規則正しい生活をして自然体で過ごすこと」と、長寿の秘けつを話してくれました。裁縫が得意で、子どもの嫁入り道具に着物をプレゼントしたことも。この日はご自身で仕立てた着物を着て、ご家族と一緒にお祝いしました。

これからも元気で過ごしてください。

「自然体で規則正しく」 日下 ツクヨさん



▲ご自身作の着物を着て笑顔のツクヨさん

直径22センチの土俵で「はっけよい！」 放課後児童クラブ「紙相撲大会」

2月17日、白石第一小学校・第一児童館放課後児童クラブの「紙相撲大会」千秋楽が行われました。平成18年から始まり今年で5回目を迎えたこの大会。1・2年生は幕下、3～6年生が幕内となり1月17日から対戦を続けてきました。

第一小での千秋楽は、幕下が1年の半沢直也くんと櫻田晴己くんが10勝同士、幕内が3年の大庭望鈴さんと永倉秀涼くんが11勝同士で対戦。土俵を囲む子どもたちが「頑張れ！」と声援を送る中、幕下は半沢直也くん、幕内は永倉秀涼くんが見事優勝を飾りました。



▲幕下の優勝決定戦(右が優勝した半沢直也くん)

自分が歩く道だから、少しでもきれいでありたい しろいしサンキューロード・プログラム



▲市道白鳥1・2号線の約400メートルの清掃活動を行う予定

「しろいしサンキューロード・プログラム」サポーターに、新しく「(株)ニチレイフーズ白石工場」が認定されました。この事業は、市道の美化活動などを積極的に行うボランティアの方々に支援する仕組みとして、平成18年4月から始まり、これまで11団体が認定され、12番目の認定となります。

2月22日に市役所で行われた認定式には、伊藤照夫工場長と佐野宏総務グループリーダーが出席。風間市長から認定書が交付され、出席者全員が市道の美化に向けて決意を新たにしました。

5月のごみ収集日程は下記の通りです。ご確認の上、きちんと分別して出してください。

◆5月のごみ収集日予定表（日付は5月の収集日です。6月上旬の収集日も掲載しています）

地区名 ごみ区分	越 河 斎 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
ペットボトル (第1曜日)	3日(火) (6/7)	2日(月) (6/6)	6日(金) (6/3)	5日(木) (6/2)	6日(金) (6/3)	2日(月) (6/6)	4日(水) (6/1)
びん類 (第2・第5曜日)	10日(火) 31日(火)	9日(月) 30日(月)	13日(金)	12日(木)	13日(金)	9日(月) 30日(月)	11日(水)
缶 (第3・第5曜日)	17日(火) 31日(火)	16日(月) 30日(月)	20日(金)	19日(木)	20日(金)	16日(月) 30日(月)	18日(水)
その他のプラスチック (第3曜日)	17日(火)	16日(月)	20日(金)	19日(木)	20日(金)	16日(月)	18日(水)
もやせないごみ (第4曜日)	24日(火)	23日(月)	27日(金)	26日(木)	27日(金)	23日(月)	25日(水)
紙 類 ・ 容器包装プラスチック	火 3・10・17・ 24・31 (6/7)	月 2・9・16・ 23・30 (6/6)	金 6・13・20・ 27 (6/3)	木 5・12・19・ 26 (6/2)	金 6・13・20・ 27 (6/3)	月 2・9・16・ 23・30 (6/6)	水 4・11・18・ 25 (6/1)
もやせるごみ	火・金 3・6・10・13・ 17・20・24・ 27・31(6/3・7)	月・木 2・5・9・12・16・19・23・26・30 (6/2・6)			月・水・木 2・4・5・9・11・12・16・18・ 19・23・25・26・30 (6/1・2・6)		火・水・金 3・4・6・10・11・13・ 17・18・20・24・25・ 27・31(6/1・3・7)

○不忘・川原子地区のもやせるごみは、毎週水曜日に収集します。

○ごみは、必ず当日の午前8時30分までに集積所に出してください（収集車が収集する時刻に合わせての搬出や、前夜出しはしないでください）。

◎特別収集日について

5月3日・4日・5日は祝日ですが、資源ごみ（ペットボトル・紙類・容器包装プラスチック）、もやせるごみについて、通常通りごみの収集を行います。上記の予定表をご確認の上、ごみ集積所に出してください。

◎ごみ袋は中身がこぼれないように**しっかり口を結び**、簡単に解けないように出してください。**テープ止めは禁止です。**

4月から「容器包装プラスチック」ごみの分別収集が始まりました！

「容器包装プラスチック」とは、商品を入れたり（容器）、包んだり（包装）しているプラスチックで、♻マークが表示されています。現在、このほとんどは角田衛生センターで焼却処分されていますが、ごみ減量と資源リサイクルを推進するため、**4月から分別収集**し、資源化を行っております。なお、♻マークの表示がないプラスチックは、これまで通り「その他のプラスチック」として資源回収を行います。

分別方法は、広報しろいし3月号に同封の「ごみの分け方と出し方」をご覧ください。それぞれの袋に必ず分別し集積所に出してください。資源リサイクルにご協力をお願いします。

～「容器包装プラスチック」「その他のプラスチック」ごみの出し方と収集日について～

4月からの「容器包装プラスチック」「その他のプラスチック」の収集は地区ごとに下記の曜日となっております。

地区名 ごみ区分	越 河 斎 川 大 平	大鷹沢 白 川 小下倉	大鷹沢田中	福 岡 小 原	市街東北本線 東 側	鷹 巣	市街東北本線 西 側
その他プラスチック (第3曜日)	第3火曜日	第3月曜日	第3金曜日	第3木曜日	第3金曜日	第3月曜日	第3水曜日
容器包装 プラスチック	毎週火曜日	毎週月曜日	毎週金曜日	毎週木曜日	毎週金曜日	毎週月曜日	毎週水曜日

※それぞれ赤の指定袋（資源ごみ）に入れて出してください。上記以外のごみはこれまで通りです。

また、収集日が祝日などの理由により変更になる場合がありますので、毎月の広報しろいしごみ収集日予定表を確認の上、集積所に出してください。

☆飼えない犬・猫の引き取り日のお知らせ

●日時 5月12日・19日・26日・6月2日（すべて木曜日）、9:00～11:30 および13:00～15:00（時間厳守）

●場所 宮城県仙南保健所

●犬・猫の引き取り手数料 生後90日以内は1頭につき400円、生後91日以上は1頭につき2,000円

※ご不明な点は、宮城県仙南保健所までお問い合わせください。なお、犬や猫などの愛護動物を捨てた場合には、処罰されることがあります。犬や猫などを飼い始めたら、最後まで責任を持って飼養するように心掛けましょう。

☎宮城県仙南保健所（大河原町字南129-1） ☎0224-53-3119

—思いやりのある良質で信頼される医療を目指して—

公立刈田総合病院紹介



☎公立刈田総合病院 ☎25-2145

●新任医師紹介

3月15日付けで、公立刈田総合病院のリハビリテーション科に赴任いたしました渡辺茂です。

患者さまの社会復帰に向けた「リハビリテーション」に、積極的に取り組まさせていただきます。と、思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4月に当院に開設しました「回復期リハビリテーション病棟」は、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの患



リハビリテーションセンターリハビリテーション科
整形外科医師 渡辺 茂

者さまに対して、ADL（日常生活動作）能力の向上を図ることにより「寝たきりの防止」と「家庭復帰」を目的としたリハビリを集中的に行うための病棟です。

そこで行われる治療は、患者さまやそのご家族を中心に医師、看護師、理学療法士、作業療法士をはじめとする複数の専門職種で編制された"チーム"により包括的に進められる必要性があります。

回復期リハビリテーション病棟を潤滑に機能させるためには、チーム間の協力が最も重要と考えています。メンバーの意思疎通を図りながら、患者さまが一日も早く社会復帰できるようになることに、微力ではありますが貢献できるよう頑張りたいと思います。

●新任医師紹介

昨年12月1日付けで、公立刈田総合病院の麻酔科に赴任いたしました宮崎未来です。

「地域を第一に」と考える高林院長と、「何よりも患者さまを大事に」と考える長谷川副院長にひかれ赴任しました。患者さまに優しい医療を目指す医療スタッフとともに、地域住民の皆さまが安心して手術に臨める麻酔科医を志しています。

皆さんは手術の際、飲食が制限されるのをご存じですか？ これは消化器の手術だけでなく、四肢・頭・腹・胸など、どこかの手術であっても（一部の局所麻酔での手術を除いて）、飲食の制限をしています。

なぜかといいますと、私たちは普段、間違っ喉へ何かが入った（誤嚥）とき、せき込んで吐き出そうとする反射（むせ）が生じます。しかし、麻酔中はその反射ができませんので、おなかの中がいっぱいと胃内容物が逆流

麻酔科医師 宮崎 未来

しやすくなり、誤嚥しても反射できず、誤嚥性肺炎になる可能性が高くなります。

そこで、消化時間を考慮し、固形物は手術前日の夕食まで、水やお茶などの透明水は手術3時間前までと制限しています。また、術後は麻酔や手術操作の影響で腸管の動きや喉の反射が弱くなっていますので、誤嚥を防ぐために、手術内容に合わせて術後も飲食の開始時刻を指定しています。

脱水にならないよう十分な点滴をしますので、ぜひご理解の上、ご協力をよろしくお願いします。



公立刈田総合病院職員募集

●職種・採用予定人員 看護師 20人

●受験資格 昭和31年4月2日以降に生まれた方で看護師の免許を有する方、または平成24年春の国家試験で看護師免許を取得する見込みの方

●試験日時および試験内容

・試験日時 5月20日（金）10:30～

・試験種目 作文試験、面接試験

・試験場所 同院大会議室

●採用予定日 平成24年4月1日以降（既に免許をお持ちの方は、ご相談に応じます）

●受験手続き ホームページの募集要項に記載している提出書類を、期間内に提出してください。なお、ホームページからダウンロードできない方は、ご連絡いただければ郵送します。また、郵送の場合は5月13日（金）の消印まで有効です。

●申込締め切り日 5月13日（金）

※土・日・祝日を除きます。

●申し込み・問い合わせ先

同院総務課 ☎25-2145（内線2406）

http://www.katta-hosp.shiroishi.miyagi.jp

1 情報センター「アテネ」

http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/athens/

開館時間 火～日曜日 9:00～17:00
5月の休館日 2～5・9・16・23・30日
☎22-1500 ㊟22-1502

■パソコン講習会

●申し込み締め切り

- ・5月分：5月10日（火）
- ・6月分：6月10日（金）

※締め切り後でも定員に空きがあれば受講できますので、問い合わせください。

●会場 アテネ1階講習会場

●受講資格

図書館共用利用者カードをお持ちの方となります。

※即日発行可。ただし、市民または市内に通勤、通学している方が優先となります。

パソコン講習会 5月・6月日程表							
コース名	時間	5月	6月	定員	受講料	テキスト代	内 容
ゆっくりコース (2日×6時間)	9:30～16:30	21(土)～22(日)	23(木)～24(金)	10人	2,000円	1,000円	パソコン初心者向けのコースです。マウス・キーボードの操作、文字入力・インターネット・電子メールなどのパソコンの基本操作を学びます。 ※2日連続のコースとなります。
Word 2007コース (6時間)	9:30～16:30	26(木)	25(土)	10人	2,000円	1,200円	Word2007の基本操作 ※ゆっくりコース終了程度の方が対象です。
Excel2007コース (6時間)	9:30～16:30	27(金)	26(日)	10人	2,000円	1,200円	Excel2007の基本操作 ※ゆっくりコース終了程度の方が対象です。

土・日・祝日も開館しています!

2 ふれあいプラザ

ふれあいプラザ事務室

☎22-6025 ㊟22-6027

男女共同参画相談支援センター

☎22-6035 ㊟22-6037

ファミリー・サポート・センター ☎・㊟25-5488

開館時間 8:30～17:15

(土・日・祝日 10:00～16:00)

■ふれあいミニ展示

入場無料

たけだしゅうかく
武田秀作油絵展

～ふるさと白石を描く・パートⅡ～

福岡長袋在住の武田さんの油絵展を開催します。白石城や蔵王などを描いた温かな色調の作品を展示します。ぜひ、ご覧ください。

●展示期間 5月31日(火)まで

●展示場所 1階図書コーナー

3 弥治郎こけし村

5月の休村日 11・18・25日

開村時間 9:00～17:00 ☎26-3993

■特別企画「井上ゆき子追悼展」

●期間 8月28日(日)まで

※5月3日(祝)・4日(祝)は、震災復興祈願「白石市こけしと地場産品市」の会場(いきいきプラザ)に展示します。

●申し込み方法

アテネ備え付けの申込用紙で、各締め切り日までにお申し込みください。はがきやファクスで申し込む場合には①住所、②氏名、③年代、④連絡先の電話番号、⑤利用者カード番号、⑥希望コース名と希望月日を明記してください。なお、受講料やテキスト代は当日、1階受け付けにお持ちください。

申込書のあて先

989-0257 白石市字亘理町37-3
白石市情報センター

※締め切り日に集計し文書で講習日をお知らせします。定員を超えたコースは抽選などで調整します。なお、講師用に受講者名簿(氏名、年代のみ記入)を作成しますので、あらかじめご了承ください。

4 古典芸能伝承の館「碧水園」

5月の休館日 2・6・9・16・23・30日
☎・㊟25-7949

■平成23年度碧水園主催講座受講生募集

●募集期間 5月1日(日)～18日

(水)(休館日を除く9:00～17:00)

●受講料 無料

■碧水園主催講座

講座名	開催日(平成23年6月から平成24年3月まで)
子ども日本舞踊講座	第1・第3土曜日11:00～12:00
茶事の基礎講座	第2・第4木曜日10:00～12:00
琴講座	第2木曜日13:00～15:00、第3土曜日18:30～20:30
尺八講座	第1水・土曜日13:00～15:00
香道講座	第1・第3木曜日10:00～12:00
茶道裏千家子ども教室	6月～1月(第2・第4土曜日)10:00～11:30

■市民講座

講座名	開催日(平成23年5月から平成24年3月まで)
高砂を謡う会	第2・第4金曜日18:30～20:30

5 いきいきプラザ

5月の休館日 2・9・16・23・30日
☎22-1635 ㊟22-1636

■定期リサイクル教室(定員10人)

山野草や高山植物に適している「植木鉢」を作ります。

●日時 5月21日(土)10:00～12:00

●持参する物 ゴム手袋、エプロン

●申込受付開始日 5月3日(火)

■短期リサイクル教室(定員20人)

使わなくなったネクタイや端切れを利用して玄関マットを作ります。

●開催日 5月24日、6月7・21日、

7月5・12日(全5回、いずれも火曜日)

●時間(共通) 9:30～11:30

●持参する物 古いネクタイ、端切れ、裁縫セット

●申込受付開始日 5月3日(火)

■フリーマーケット(第4土曜日)

●日時 5月28日(土)8:30～12:00

■青っ葉市営業を再開します

●日時 5月7・14・21・28日(すべて土曜日)9:00～12:00

武家屋敷催事「端午の節句展」無料入場券(家族・グループ可)

5月5日(祝)まで

※ファミリー・サポート・センターや子育て支援センターなどの子育て情報を30ページに掲載しています。

6 図書館

開館時間 火～日曜日 9:00～17:00
5月の休館日 2～5・9・16・23・30日 ☎26-3004 ㊟26-3505
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/toshokan/

余震の影響や節電を考慮し、当分の間、17:00で閉館します。

■5月2日(月)～5日(祝)は返却ポストの使用を中止します

本の破損を防止するため、上記の期間中は返却ポストの使用を中止し

ます。返却は、5月6日(金)以降にお願いします。

■利用者カードを作ろう!

運転免許証など住所、氏名、生年月日が確認できるものをご持参ください。お子さんも、保険証または学校の名札で利用者カードが作れます

(名札の裏面に住所、氏名、保護者名、電話番号の記載が必要)。

※小学3年生以下は、保護者の同意が必要です。

■平成23年度購入雑誌のお知らせ(貸出期間は8日間)

地震の影響により、一部の雑誌の入荷が停止しています。最新号が届き次第、閲覧コーナーの雑誌につい

ては貸し出しを行います。入荷が大幅に遅れている雑誌については、貸し出しと予約を中止しています。

番号	雑誌タイトル	番号	雑誌タイトル
1	BE-PAL	28	ベストカー
2	BISES ビズ	29	ミセス
3	ESSE エッセ	30	メンズ・クラブ
4	MISS (ミス)	31	りらく
5	MOE (モエ)	32	芸術新潮
6	Newton	33	月刊かがくのとも
7	NHKきょうの健康	34	月刊ボプラディア
8	NHKきょうの料理	35	現代農業
9	NHKすてきにハンドメイド	36	日経ヘルス
10	NHK趣味の園芸	37	山と溪谷
11	non・no	38	週刊文春
12	Sports・Graphic・Number	39	住まいの設計
13	S-style せんだいタウン情報	40	小説新潮
14	With	41	仙台経済界
15	オレンジページ	42	中央公論
16	クーヨン	43	東北じゃらん
17	クロワッサン	44	日経PCビギナーズ
18	こどものとも0.1.2	45	日経WOMAN
19	スクリーン	46	日経エンタテインメント!
20	すてきな奥さん	47	日経トレンディ
21	ダ・ヴィンチ	48	婦人画報
22	たまごクラブ	49	婦人公論
23	俳句界	50	文藝春秋
24	ピチレモン	51	文字の大きな時刻表
25	ひよこクラブ	52	暮らしの手帖
26	武道	53	歴史読本
27	プレジデント		

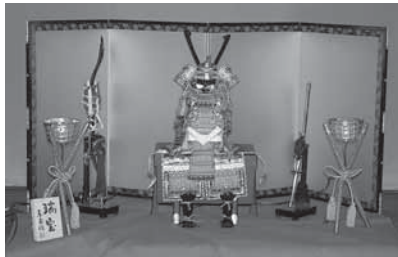
7 片倉家中武家屋敷「旧小関家」

博物館建設準備室(中央公民館内)

☎22-1343 ㊟24-5377

■武家屋敷催事 端午の節句展

五月人形と^{のぼり}幟を展示しています。



●日時 5月5日(祝)まで 9:00～17:00

8 白石城

開館時間 9:00～17:00

☎24-3030 ㊟24-3033

■日本サクラソウ展



●日時 5月3日(祝)～5月5日(祝) 9:00～16:00

●場所 白石城大手門前展示場

図書館ひろば

今月のおすすめの本

一般書

■本当に泊まりたい! 全国自慢の公共の宿 '11～'12

成美堂出版

休暇村や国民宿舎など、誰でも泊まることができる全国の公共の宿659軒を、温泉・立地・料理といった各宿が持つ魅力別に紹介。新設・リニューアルオープンの宿、シティ&ビジネスホテルも充実しています(データは、2011年1月現在)。



■図説戦国女性と暮らし

学研ブリッシング

小袖とは? 流行の髪形は? 食卓の献立は? 調度品は? 戦国時代の「装う・食べる・住む」を詳しく解説。お市の方や細川ガラシャ、江といった姫たちの物語も紹介しています。



■塩麴と甘酒のおいしいレシピ

料理・スイーツ・保存食麴のある暮らし

タカコ・ナカムラ 著 農山漁村文化協会

豆腐の麴田楽、甘酒のべつたら漬け、ガーリック塩麴オイル…。手軽に作れる発酵調味料「塩麴」と「甘酒」を使ったレシピを紹介。特別な道具はいらず、いつでも誰でもすぐに始めることができます。



児童書

■ビジュアル戦国英雄伝5

伊達政宗・真田幸村

河合 敦 監修 学研教育出版

代表的な戦国大名たちをイラストやマンガ、写真を交えわかりやすく紹介しています。独眼竜・伊達政宗と戦国の最後をかざった真田幸村。それぞれの人物ヒストリーや合戦の様子、政治・文化などについても親しめる本です。



■竜の座卓

朝比奈蓉子 作 偕成社

はくと、てつ兄は、脳梗塞で倒れて同居することになったじいちゃんと、夏休みに力を合わせて座卓を作るが…。初めて「老い」を見つめる兄弟の、とまどいと成長の物語です。



●お子さんとお母さんの健診と相談（場所:健康センター）

内容	5月分		6月分		受付時間
	月日	対象者	月日	対象者	
4カ月児健診	5月25日（水）	平成22年12月21日～平成23年1月31日生まれの方	6月15日（水）	平成23年 2月生まれの方	13:00～13:10
6カ月児育児相談	5月27日（金）	平成22年10月16日～11月30日生まれの方	6月17日（金）	平成22年12月生まれの方	9:20～ 9:30
1歳6カ月児健診	5月26日（木）	平成21年 9月16日～10月31日生まれの方	6月16日（木）	平成21年11月生まれの方	13:00～13:10
2歳6カ月児 親子歯科健診	5月27日（金）	平成20年10月16日～11月30日生まれの方	6月17日（金）	平成20年12月生まれの方	13:00～13:10
3歳6カ月児健診	5月24日（火）	平成19年10月16日～11月30日生まれの方	6月14日（火）	平成19年12月生まれの方	13:00～13:10
乳幼児相談	5月12日（木）	乳幼児～未就学児のお子さまと そのご家族の方	6月 2日（木）	乳幼児～未就学児のお子さまと そのご家族の方	9:15～ 9:45
妊婦歯科健診	6月7日（火）、10月11日（火）、平成24年2月7日（火）に、「妊婦さんと赤ちゃんのサロン」と合わせて行います。				

※「乳幼児健診」は個人に通知しませんので、広報しろいしをご覧ください。母子健康手帳・問診票・バスタオルを持参しておいでください。
また、当日、都合の悪い場合は翌月に受診できますので、ご連絡ください。

●妊婦さんと赤ちゃんのサロン（場所:健康センター）

月 日	内 容	対 象	受付時間	サロン
5月10日（火）	離乳食にも生かせる妊産婦の食事についてお話しします（実演・試食あり）。	妊婦さんや、4カ月健康診査前のお子さまとそのご家族の方	9:20～9:30	10:00～11:00
6月 7日（火）	ママと赤ちゃんの歯の健康についてのお話と、歯科健診を行います。また、助産師とのお話会も行います。			

※母子健康手帳は、健康推進課窓口で随時交付しています（開庁日の8:30～17:15）。

●東日本大震災の発生に伴うポリオ（生ワクチン）予防接種の実施延期について

毎年5月と10月に実施しているポリオ（生ワクチン）予防接種は、このたびの東日本大震災の影響により、ポリオワクチンの入手が困難な状況にあります。このため、**ワクチンの準備ができ次第、広報しろいしなどであらためて実施日程などをお知らせします**ので、しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

虫歯を予防しよう！

虫歯は食生活習慣病です。甘い物をだらだら食べたり、飲んだりしていると虫歯になりやすくなります。規則正しい食生活と仕上げ歯磨きで虫歯を予防しましょう！

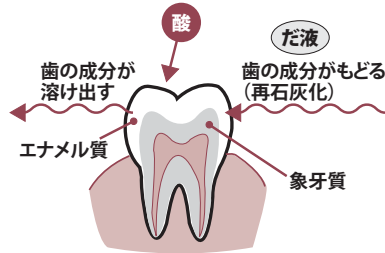
虫歯ができてしまったら治療しなければ治りません。特に子どもの虫歯は進行が早いので早めに治療することが大切です。

☎健康推進課 ☎22-1362

だ液は、歯を守る強い味方です

だ液には、溶けた歯の表面を修復する働きがあります。これを「再石灰化」と言います。また、だ液には食べかすを洗い流したり、酸を中和したりする働きもあります。

だらだらと甘い物などを食べていると、歯を修復する時間が取れません。時間を決めて、よくかんで食べる習慣を心掛け、だ液の分泌量を増やして歯の再石灰化を促しましょう。



【2月22日の3歳6カ月児健診を受診した子どもたち】



元気っ子！
集まれ！

地域子育て支援センター「あいあい」

※子育てに関する相談を随時受け付けています。気軽にご相談ください。

●開館日 月～金 8:30～17:15
☎ふれあいプラザ内 ☎22-6025 ㊟22-6027

●メールアドレス kosodate@city.shiroishi.miyagi.jp

1「ベビーマッサージ」開催！

ママと赤ちゃんのスキンシップ！
母乳や育児のことでお困りの方も、ぜひどうぞ。

●講師 助産師 いわき 岩佐あけみさん
●日時 5月26日（木）10:00～11:30

●場所 ふれあいプラザ和室

●対象 生後2～6カ月ごろまで

●募集定員 10組（申し込み順）

●参加費 100円（オイル代）

●持ち物 バスタオルなど

2「子育てサポーター養成講座」の受講者を募集します

参加無料

子育て支援に関心をお持ちの方や若い親子との関わり方に不安をお持ちの方など、子育て支援をいただける方などなたでも参加できます。

●講師 志賀智恵子先生

●開催日（全5回）

5月17日（火）・24日（火）・31日（火）、
6月3日（金）・29日（水）

●時間 10:00～11:30

●場所 ふれあいプラザ（2階）

●募集定員 10人（申し込み順）

※12については5月2日（月）以降、電話でお申し込みください。

3「あいあいランド」開催！

参加無料

手遊びをしたり、体を動かしたりして楽しく遊びましょう。

保護者の方々の交流の場にもなっています。おじいさまやおばあさまもお越しください。

●日時 5月25日（水）10:00～11:30

ファミリー・サポート・センター

（ふれあいプラザ内）
☎・㊟25-5488

●メールアドレス famisapo@city.shiroishi.miyagi.jp

■ファミサポ会員になりませんか？

「ファミリー・サポート・センター」（ファミサポ）は、子育てのお手伝いをして欲しい方と、サポートしてくださる方の会員制の組織です。

「残業でお迎えに行けない」「休日に出勤になってしまった」ときなどのために、入会しておくとう安心です。手続きは印鑑をお持ちの上、ふれあいプラザまでご来館ください。

利用料は、1時間当たり子ども1

●場所 大平公民館

●対象 就園前のお子さまと保護者

●持ち物 室内靴（親子とも）、お子さま用にお茶またはお水

※参加を希望される方は、会場に直接お越しください。

4「ほっぷんちょ」を開催します！

参加無料

～楽しい子育てを応援します～

乳幼児と家族のための交流のひろばです。おもちゃ作りや体を動かす遊びのほか、子育てセミナーなども行います。気軽にご参加ください。

●対象 就園前のお子さまと保護者

●日時 5月18日（水）10:00～11:30

●場所 中央公民館2階講座室

※参加を希望される方は、会場に直接お越しください。

5支援センターの子育てサークル

5月・6月の開催日のお知らせ

参加無料

お子さまの成長に即したよりよい支援を目指し、月齢や年齢ごとの子育てサークルとして5つの「あいあいーむ」を開催しています。気軽にご参加ください。

①ニコニコーむ（0～6カ月児）

親子遊びと育児の情報交換を中心にした「ーむ」です。

5月9日（月）、6月13日（月）

②ハイハイーむ（7～11カ月児）

親子遊びを中心に、絵本の読み聞かせや手作りおもちゃ製作なども取り入れた「ーむ」です。

5月11日（水）、6月8日（水）

③ヨチヨチーむ（1歳児）

親子遊びを中心に絵本や紙芝居などを取り入れた「ーむ」です。

5月10日（火）、6月1日（水）

④ランランーむ（2歳児）

1歳までの「ーむ」に加え、パネルシアターや人形劇などの視聴覚教材を活用した「ーむ」です。

5月19日（木）、6月2日（木）

⑤ルンルンーむ（3歳児以上）

身体を動かしたり、製作をしたりと活動的な「ーむ」です。

5月12日（木）、6月9日（木）

●時間（共通） 10:00～11:30

●場所（共通） ふれあいプラザ

※参加を希望される方は、直接お越しください。

子育て休憩室「とんとん」
をご利用ください

親子遊びや手遊び、おもちゃ作り、砂遊び、絵本読み聞かせ、ママたちの楽しい会話などを通して楽しいひとときを過ごしませんか？

●対象 就園前のお子さまと保護者

●本年度の開催予定日（前期）

5月19日、6月16日、7月14日、
9月15日、10月13日（すべて木曜日）

●時間 各日とも10:00～12:00

※参加を希望される方は、直接お越しください。

●場所 第一児童館

●主催 すぎのこ母親クラブ

☎第一児童館 ☎25-7070

5月のおはなしひろば

●開催日 5月12日（木）

●時間 11:00および15:30の2回

●場所 アテネ2階 絵本コーナー

●内容 紙芝居や絵本の読み聞かせ

☎図書館 ☎26-3004



生活習慣病予防のためのヘルシークッキング

「はやね、はやおき、朝ごはんて規則正しい生活リズムを作りましょう」

ホタテと ハウレンソウの スパゲティ

白ワインの風味を利かせて、
薄味に仕上げました

材料(2人分)

スパゲティ……160g
ホタテ貝柱……100g
ハウレンソウ……80g
タマネギ………60g
赤ピーマン……20g
ニンニク………4g

赤唐辛子 ……1/2本
サラダ油 ……小さじ4
白ワイン ……小さじ2
塩 ……少々
コショウ ……少々
粉チーズ ……小さじ1



エネルギー462kcal／たんぱく質21.3g／塩分0.3g

作り方

- ホタテをそぎ切りにする。
- ハウレンソウは固めにゆでて、4 cmの長さに切る。
- タマネギは薄切り、赤ピーマンは細切りにする。
- スパゲティをゆでる。
- フライパンにサラダ油を熱し、みじん切りにしたニンニクと、小口切りにした赤唐辛子をいためる。香りが出たら①とタマネギを加えていため、白ワインを加える。
- ホタテに火が通ったら、②と赤ピーマンを加えていためる。
- しんなりしたら④を加えていため、塩・コショウで調味する。
- 器に盛り、粉チーズを振って出来上がり



ヘルスメイト白石
白石地区の皆さん

●各種健康診査の申込書は提出されましたか？ 未提出の方は、お早めにご提出ください

～申込書が送られた世帯の方はすべて、期限までに必ず提出してください～

本市では、現在、各種健康診査（がん検診など）の申し込みを受け付けています。4 月末日までに市内全世帯へ申込用紙を送付しましたので、「申し込む・申し込まない(検診を受診する・しない)」にかかわらず、いづれかに○を付けて、5 月 13 日(金)までに返信用封筒で郵送していただくか、直接、健康推進課(健康センター 1 階)へ提出してください。

※本市の検診をすべて受診しない場合は、申込書の「申し込みしない」に○を付けて、郵送(または直接提出)してください。なお、「申込書が届いていない」「申込書が見当たらない」という方は、健康推進課(☎22-1362)までお問い合わせください。

●予防接種を受けましょう！

麻しんの国内完全排除を目指し、平成20年度から平成24年度まで、麻しん・風しん混合予防接種に第Ⅲ期(中学1年生相当)と第Ⅳ期(高校3年相当)を追加しています。次の該当者には、4月に通知書を送付しましたので、必ず接種されますようお願いします。

- ①ジフテリア・破傷風混合予防接種Ⅱ期 対象者：小学校6年生(平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ)
②麻しん・風しん混合予防接種Ⅱ期 対象者：小学校就学前1年(平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ)
③麻しん・風しん混合予防接種Ⅲ期 対象者：中学1年生相当(平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ)
④麻しん・風しん混合予防接種Ⅳ期 対象者：高校3年生相当(平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ)

※接種料金は無料です。期間は平成24年3月末までですが、なるべく流行期前の6月までに接種することをお勧めします。

●献血のご協力ありがとうございました

2月：ジャスト白石店(セラビ白石内) 54人 3月：白石市役所 14人、セコム工業(株) 22人、(株)エコー設備工業 8人

●こころの保健事業 (場所:健康センター)

事業名	対象者	内容	相談日時
こころの相談 (精神保健福祉相談)	心の健康問題を抱える方およびその家族	精神科医による個別相談	5月25日(水) 13:00～15:00 6月 1日(水) 13:00～15:00
もの忘れ相談 (認知症相談)	もの忘れや認知症の方およびその介護で悩む方々	精神科医による個別相談	5月25日(水) 13:00～15:00 6月22日(水) 13:00～15:00

※相談を受ける方は、事前予約が必要です。ご利用の方は健康推進課(☎22-1362)にお問い合わせください。

●山南保健福祉事務所からのお知らせ

山南保健福祉事務所です毎月実施している「アルコール専門相談」「思春期・ひきこもり専門相談」は、当分の間、実施を見合わせます。

☎宮城県山南保健福祉事務所母子障害班
☎ 0224-53-3132

●「春のしろいし健康ウォーク」を中止します

例年、5月に開催していた「春のしろいし健康ウォーク」は、東日本大震災の影響を考慮し中止することとしました。10月の「秋のしろいし健康ウォーク」は通常通り開催予定です。ご理解をお願いします。

☎健康推進課 ☎ 22-1362

●休日当番医・調剤薬局

月 日	内 科	外 科	調剤薬局
5月 1日	三浦内科胃腸科クリニック ☎25-6854	公立刈田綜合病院 ☎25-2145	
5月 3日	水野内科クリニック ☎25-2736	つつみ内科外科こどもクリニック ☎25-1181	エルム調剤薬局 ☎25-1680 フレンド薬局清水小路 ☎24-3393
5月 4日	海上内科医院 ☎25-1501	橋本整形外科医院 ☎25-1616	フレンド薬局白石 ☎24-2119 あさひ薬局 ☎22-5040 伊新薬局 ☎26-2593 フジ薬局 ☎24-3355
5月 5日	梅津内科医院 ☎24-3571	さたけ整形外科(蔵王町円田) ☎33-4855	さんた薬局 ☎26-3376
5月 8日	引地泌尿器科内科クリニック ☎26-2823	公立刈田綜合病院 ☎25-2145	けやき薬局白石店 ☎26-1160
5月15日	塚本内科消化器科 ☎26-1026	こまつ外科・内科クリニック ☎22-2115	うさぎ薬局 ☎26-3557 宮調剤薬局 ☎24-3113
5月22日	やまきクリニック ☎26-3888	大泉記念病院 ☎22-2111	四ツ目屋薬局(蔵王町宮) ☎32-3360 蔵王ヘルスマート薬局(蔵王町宮) ☎32-4550 高木薬局 ☎25-2320
5月29日	佐藤医院(蔵王町宮) ☎32-2002	おおはし整形外科 ☎22-2888	にしうら薬局(蔵王町宮) ☎32-3020
6月 5日	内方医院(蔵王町宮) ☎32-2101	公立刈田綜合病院 ☎25-2145	
6月12日	柿崎小児科 ☎25-2210	公立刈田綜合病院 ☎25-2145	

※歯科は毎回、白石市歯科休日診療所(健康センター 2 階、☎25-4744)になります。

●“なかなかたばこがやめられない”という方はいませんか？ 5月31日は世界禁煙デーです

朝起きてすぐたばこを吸う方や、体の具合が悪いときも吸うという方は、「ニコチン依存症」の可能性がありま。日本人の喫煙者の約7割はニコチン依存症と言われており、依存度が高くなるほど自力での禁煙は難しくなります。

禁煙に関心がある方は、新しい禁煙補助薬やパッチなどもありますので、各医療機関や健康センターまでご相談ください。自分や大切な家族の健康を守るためにも禁煙しましょう。

健康一口メモ

「手術が決まった！
そのときあなたが
気になること
術後の痛みに対する
処置「硬膜外麻酔」」



公立刈田綜合病院 麻酔科
みやざき みき
宮崎 未来

手術が決まったとき、病
気に対する不安はもちろ
ん、痛みに対する不安を抱
かれると思います。

今回は、皆さんが気にな
る「術後の痛みに対する処
置」についてお話します。

脳から脊髄という太い神
経が伸び、脊髄から全身に

神経が枝分かれしていま
す。その脊髄の近くにチュ
ーブを入れ、持続的に痛み
止めを投与する方法が「硬
膜外麻酔」です。

この硬膜外麻酔は主に胸
腹部・下肢の痛みを軽減す
るために施行されます。方
法は、脇を下にし横になり、

背を丸めていただきます。
それから、背骨の間に予防
接種くらいの細い針で痛み
止めの注射をします。痛み
止めが十分効いたら、チュ

ーブを通すための針を脊髄
の近くまで進め、太さがタ
コ糸くらいのチューブを挿
入します。チューブに痛み
止めを入れたボトルをつ
け、痛みのピークである2
～3日間、点滴のように痛
み止めを持続的に投与しま
す。

しかし、全例に適応があ
るわけではなく、手術部位・
傷の大きさ・持病(血液が
サラサラになるお薬を内服
の方は行えません)などか
ら適応を判断します。

術後、動きに伴い痛みや
引きつれなどを感じることも
ありますが、硬膜外麻酔
以外にも座薬や注射薬など
の併用により、術後の痛み
を軽減できますので安心し
て手術に臨んでください。

白石市スポーツ少年団 団員募集

申し込み・問い合わせは 各団またはスポーツ少年団本部（事務局：生涯学習課 ☎ 22-1343）

種 目	団 名	練習日時	練習場所
野 球	青麻少年野球クラブ	土・日 9:00 ～ 12:00	深谷小グラウンド
	大平少年野球クラブレインボー	第1・3・5土・日 8:30～12:00、第2・4土・日 13:00～17:00	大平小グラウンド
	大鷹沢少年野球クラブ	土・日 8:30 ～ 12:30	大鷹沢小グラウンド
	越河少年野球クラブ	土 13:00 ～ 17:30、日 8:00 ～ 11:30	越河小グラウンド・体育館
	白川少年野球クラブ	土・日 8:45 ～ 12:00	白川小グラウンド・体育館
	白石少年野球クラブ	土・日 8:15 ～ 12:00	白石第一小グラウンド
	白石ヨッジャーズ少年野球クラブ	土・日 8:30～12:00、火・木 17:30～20:00(4月～10月)	青麻グラウンドほか
	福岡少年野球クラブ	火・木 放課後、土 8:00 ～ 12:00	福岡小グラウンド
剣 道	蓮心館剣道	水・金 16:00 ～ 17:00	ひかり幼稚園ホール
バレーボール	白石サンダーズ	木 19:00 ～ 20:30、土 9:00 ～ 12:00	白石第一小体育館
サッカー	大平サッカークラブ	第1・3・5土・日 13:00～16:00、第2・4土・日 9:00～12:00	大平小グラウンド・体育館
	白石サッカー	木 19:00～21:00(4年生以上)、土・日 9:00～12:00	白石第二小グラウンド
	FC白石ジュニアーズ	土・日 13:00 ～ 15:00	白石第一小グラウンドほか
柔 道	白石三省塾柔道	月・水・金 18:00 ～ 20:00	白石三省塾道場
	白石空手道	水・土 18:30 ～ 20:00	白石中学校武道館
空手道	斎川空手道	月・木 18:30 ～ 20:00	斎川小体育館・斎川公民館
	極真館白石道場	火・金 19:00 ～ 21:00	白石中学校武道館
ソフトテニス	白石ソフトテニス	土または日 9:00 ～ 11:00	益岡公園テニスコート
	福岡Jrソフトテニスクラブ	月・木 18:30～20:30、第2・4土 9:00～12:00、月に1～2回日曜	益岡公園テニスコートほか
ドッジボール	アルバルクキッズ	月・水 18:00 ～ 20:30	白石第二小体育館

元気な声で「火の用心」 越河保育園児が地域を巡回



3月8日、春の火災予防運動に合わせて、越河保育園児が地域を巡回して「火の用心」を呼び掛けました。出発式で古山陽子園長は、「火は大切ですが、間違ったことをすると怖いもの」と園児たちにあいさつ。園児たちは「絶対に火遊びはしません」と誓いました。

市民の皆さまも、火の元には十分ご注意ください。

助け合いの心・続ける心 白石市赤十字奉仕団が県から表彰



長年にわたり地域福祉活動に取り組んできた「白石市赤十字奉仕団」が、日本赤十字社宮城県支部（村井嘉浩支部長）から表彰され、2月18日、鈴木恒秋団長（写真左）が市役所を訪れ風間市長に報告しました。鈴木さんは団を代表し、「これからも地域のために全力を尽くしたい」と話しました。

Monthly Consultation

相談種別	日 時		会 場	電 話
人権擁護	5月16日(月)	10:00 ～ 15:00	市庁舎2階 第2会議室	生活環境課 ☎22-1314
行 政	5月16日(月)	10:00 ～ 15:00	市庁舎2階 第2会議室	生活環境課 ☎22-1314
無 料 法 律	5月16日(月)	10:00 ～ 15:00	市庁舎3階 第3会議室	生活環境課 ☎22-1314
農 家	5月10日(火)	10:00 ～ 12:00	農林振興センター	農業委員会 ☎22-1256
精神保健福祉	5月25日(水)	13:00 ～ 15:00	健康センター(要予約)	健康推進課 ☎22-1362
もの忘れ	5月25日(水)	13:00 ～ 15:00	健康センター(要予約)	健康推進課 ☎22-1362
障 害 者	5月11日(水)・25日(水)	13:00 ～ 15:00	福祉プラザやまぶき	福祉事務所 ☎22-1400
補聴器巡回サービス	・リオン：5月12日(木)・25日(水) ・ワイデックス：5月24日(火)	13:00 ～ 14:00	市庁舎1階 東側和室	福祉事務所 ☎22-1400

在職者向け訓練受講者募集

●対象 在職中・求職中の方

●訓練講座名

① Word2007 基礎

② Access2007 基礎

③ Word2007 応用

④ Access2007 応用

●訓練日時

①②：6月11日(土)・12日(日)

③④：6月25日(土)・26日(日)

いずれも 9:20 ～ 15:40

●場所 白石高等技術専門校

●申込締め切り日

①②：5月12日(木)

③④：5月26日(木)

●定員 各10人（応募多数の場合は抽選となります）

●費用 2,000円程度（教科書代）

●申し込み・問い合わせ先

白石高等技術専門校 ☎ 35-1511

<http://www.pref.miyagi.jp/srkogsn/>



1-2_久しぶりの再会で楽しく遊ぶ児童たち 3_開所式に出席した大平小の児童たち 4_大平公民館運営会議の永井義雄会長。開所準備委員会の委員長として、住民と市のパイプ役を務めました 5_クラブが置かれる大平小の体育館 6_指導員を務める制野恵理沙さん。自身も大平小の卒業生

白石初の試み 公設民営の放課後児童クラブ

4月4日、大平放課後児童クラブの開所式が同小体育館内の児童クラブ教室で開催されました。大平地区への児童クラブ設置は、大平地区の皆さんにとつてかねてからの願いでした。平成22年8月、大平公民館運営会議臨時総会で「地元の子どもは地元で育てたい」という大平地区の皆さんの思いが決め手となり、大平地区の児童クラブは民営により実施されることとなりました。

同年9月には、大平公民館運営会議や大平小の先生、PTA、市担当者などで構成する開所準備委員会を設立。以後、10回以上の会議を経てよりよい在り方を模索してきました。

開所準備委員会の永井義雄委員長は開所式で、「準備に当たった委員会、小学校の先生、PTA、スタッフの皆さんに感謝したい。期待に応えられるような運営をするためにも、皆さんのご支援をお願いします」とあいさつ。風間市長は、「このクラブは公助に頼らない、共助の精神の現れ。準備に当たった皆さんに感謝するとともに、



大平小学校6年
おおの まこと
大野 誠 さん

大平小学校に放課後児童クラブができました。上級生として下級生の面倒を見てちゃんとやっていきたいと思います。

に、スタッフの皆さんよろしくお願いします」と祝辞を述べました。指導員として子どもたちを保育する制野恵理沙さんは、「子どもたちが素のままの自分でいられる場所であることを大切にしたい。そして、子どもたちにとって大きな家のような存在になればと思います」と話しました。また、運営スタッフには保護者や地域の皆さん28名が登録し、子どもたちの保育にご協力いただくことになりました。

今後は、地域と行政が良好なパートナーシップを築きながら児童クラブの運営にかかわっていくことが大切になってきます。すべては子どもの健やかな成長のために。そして、「大平」という地域の絆がより深く、強くなることを願って―

放課後児童クラブ：児童福祉法に基づき、労働などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童を放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育。全国で18,479カ所設置。登録児童数は807,857人（平成21年5月1日現在：厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課調べ）

白石市次世代育成支援行動計画をご覧ください

「白石市次世代育成支援行動計画」は、市民の皆さまが安心して子どもを産み、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるまちを目指して策定した、子育てに関する総合的な計画です。

本市では、この計画に基づいて各種事業を推進しています。今回、昨年度の実施状況と本年度の実施計画をまとめました。ご覧になりたい方は、市庁舎1階子ども家庭課にお越しください。

☎子ども家庭課 ☎ 22-1363

軽自動車税の納付はお早めに！

■軽自動車税の賦課対象者

平成23年4月1日現在で、原付きバイクや農耕作業車、小型特殊自動車、軽二輪車、軽四輪車、二輪小型自動車などの軽自動車を登録している方に、1年分の軽自動車税が課税されます(※)。

平成23年度の納税通知書を5月上旬に発送する予定です。納期限は5月31日(火)ですので、早期の納付にご協力をお願いします。

※4月2日以降に廃車・名義変更手続きを行っても、月割りでの課税・還付はありません。

■軽自動車税の減免

身体に障害のある方などが所有する軽自動車でも、もっぱら通学(通所)や通院、仕事のために使用する車両は、障害の種類や等級により減免が受けられる場合があります。該当の有無を確認の上、5月24日(火)まで申請してください。詳しくは、お問い合わせください。

●申請に必要なもの

納税通知書、身体障害者手帳、運転免許証、車検証、印鑑
※普通自動車税(県税)の減免を受ける場合は、軽自動車税の減免を受けることはできません。

●申請・問い合わせ先

税務課 ☎ 22-1313
※被災した車両の課税は、15ページをご覧ください。

住宅用火災報知器の設置はお済みですか？

宮城県内すべての住宅に、「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。まだ設置していない方は、お早めに設置してください。既に設置している方は、設置場所をも一度確認しましょう。

火災警報器は作動しなければ意味がありません。誤作動などがないか定期的に点検をしましょう。

■悪質な訪問販売にご注意を！

住宅用火災警報器の設置義務に伴い、消防職員などを装って高額な火災警報器を訪問販売する事例が発生しています(消火器販売も同様)。不審な点がある際は、はっきり断るか、消防署までご連絡ください。

☎白石消防署 ☎ 25-2259

開催します

認知症高齢者家族のつどい

平成23年度から毎月第3水曜日の開催となります。

●日時 5月18日(水) 13:30～

●場所 介護予防センター

●内容 座談会

●参加費 100円(資料代など)

●申し込み・問い合わせ先

介護老人保健施設 清風 ☎ 22-2110
地域包括支援センター ☎ 22-1361

第2回白石高等学校合唱部定期演奏会

入場無料

～歌ものがたり「よだかの星」～

今年は、マンドリン部とともに奏でるステージや歌ものがたり「よだかの星」(宮沢賢治原作・萩京子作曲)など、趣向を凝らしたプログラムで白高合唱部ならではのステージをお届けします。合唱部の天使の歌声聞きに、ぜひお越しください。

東日本大震災の被災者のためのチャリティー募金も実施します。

●日時 5月15日(日) 14:00開演

●場所 えぞこホール(大河原町)
☎同校合唱部 目黒 ☎ 25-3154

募集します

保健栄養教室受講生募集

～楽しく健康づくりをしませんか～

自分の健康づくりはもちろんのこと、家族の健康や地域の健康について学習する教室です。男女問わず、多くの方のご参加をお待ちしています。ぜひお申し込みください。

※この教室は、白石市食生活改善推進員(ヘルスメイト白石)の養成講座を兼ねています。

●開催日(全7回)

6月8日(水)、7月1日(金)・20日(水)、8月2日(火)、9月2日(金)・16日(金)、10月4日(火)

●時間 9:30～13:00ごろ

●場所 健康センターなど

●定員 30人(申し込み順)

●受講料 実習材料費の一部として、1回の教室につき300円をご負担いただきます。

●申込締め切り日 5月31日(金)

●申し込み・問い合わせ先

健康推進課 ☎ 22-1362

総身健康医学体験学習会参加者募集

気も心も癒やされる、人体内の気血機能を高める養生法です。身体を動かしながら痛みや悩み、エステ、栄養などに関する体験講座です。

●開催日および開催場所

①ふれあいプラザ：5月9日・13日、6月13日・27日(すべて月曜日)

②福岡公民館：5月17日・31日、6月7日・21日(すべて火曜日)

●時間 ①②ともに13:30～15:00

●定員 各20人～30人(申し込み順)

●参加費 1,000円(月2回分)

●申込締め切り日

①5月6日(金)、②5月14日(土)
※動きやすい服装でタオルをご持参ください。

●申し込み・問い合わせ先

かしむら 柏村・佐久間 ☎ 090-4559-9292

毎月第3日曜日は「家庭の日」。
家族みんなで過ごしましょう！
今日は5月15日です。

地域コミュニティ育成支援事業(やる気応援事業)を活用しませんか？

地域づくりに取り組む、小規模で新しい団体を支援します。

●対象団体 ①～⑤すべてに該当)

①恒常的にコミュニティ活動に貢献が期待できる団体

②営利や宗教・政治活動を目的としない団体

③構成員5人以上の小規模な団体

④上部組織の傘下でない団体

⑤組織されて5年未満の団体(設立5年以上でも、新規事業については対象となる場合があります)

●補助金額 100,000円以内
(対象事業費の2分の1以内)

●補助期間 原則3年間

●申請期間 6月20日(月)まで

【事業例】

①地域行事等に参加するため、楽器や衣装等を購入する。

②地域の緑化活動を行うため、種苗や肥料、清掃用具等を購入する。

●申請・問い合わせ先

企画情報課 ☎ 22-1324

いきいき健康教室～認知症予防編～受講生募集

～自ら行う介護予防～

運動と認知症予防を組み合わせた教室です。認知症予防に興味・関心のある方は、ぜひご参加ください。頭と身体を楽しく動かしましょう！
●対象 要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の市民の方で、継続して参加できる方(申込時に、病歴などを確認します)。

●開催期間および開催日

6月9日(木)～8月11日(木)
※全10回、毎週木曜日開催。

●時間 13:30～15:30

●場所 介護予防センター

●定員 25人(申し込み順)

●受講料 無料。ただし、傷害保険料1,000円程度は自己負担。

●内容 ストレッチ体操やバランス運動、創作活動、脳トレーニング

●申込受付期間・時間(期間厳守)
5月16日(月)～31日(金)

●申し込み・問い合わせ先

健康推進課 ☎ 22-1362

地域農業いきいき推進事業に参加しませんか？

地域農業を活性化させようとする、意欲ある活動を支援するための事業です。ぜひご応募ください。

●対象団体 農家組合・農業法人・農林業関係任意組合・団体(3戸以上)、森林組合で地域農林業の活性化への貢献が期待できる団体

●対象事業 他の補助を受けていない団体で、次のいずれかに該当する事業(補助期間は3年以内)

①産地拡大推進型事業 新たな農林産物・加工品の導入・拡大、地産地消、グリーンツーリズムの推進を実施して産地拡大を図り、地域農業を発展させようとする事業

②集落環境保全型事業 農村環境や生活環境などの保全につながる減農薬・減化学肥料、有機農産物、環境保全活動などへの取り組みや、有害鳥獣被害防止に必要な事業

③集落営農促進型事業 集落営農を促進させるために必要な団地化や、品質向上・省力化などの事業

●補助率 ソフト事業の場合は補助対象経費の2分の1以内、ハード事業の場合は3分の1以内

●補助限度額 1団体500,000円

●申請期間 6月30日(木)まで

●申請・問い合わせ先

農林課 ☎ 22-1253

第27回全国小学生陸上競技交流大会白石地区予選会

●日時 5月28日(土) 8:00～

※雨天時は5月29日(日)に延期

●場所 白石川緑地陸上競技場

●参加資格 白石市・蔵王町・七ヶ宿町各小学校の4・5・6年生

●競技種目 ①80m：4年生男女、②100m：5・6年生男女、③80mハードル：5・6年生男女、④4×100mリレー：5・6年生男女、⑤走り高跳び・走り幅跳び：5・6年生男女、⑥ボール投げ(ソフトボール公認1号球)：5・6年生男女

●参加料 300円

●申込締め切り日 5月16日(月)

●申し込み・問い合わせ先

白石市陸上競技協会 岩松 ☎・FAX 25-0869

ハーストビル市中学生派遣引率者募集

姉妹都市ハーストビル市(オーストラリア)を訪問する、中学2年生10人を引率していただく方を募集します。

●募集定員 1名

●派遣期間 7月28日(木)～8月7日(日)の11日間

●応募資格 以下の条件にすべて該当する、市内在住の成人の方

①国際理解や交流活動に興味・関心を持ち、一定の日常英会話能力を持つ、心身共に健康な方

②派遣期間全日程と事前研修(4～5回)に参加できる方

③生徒を引率するにふさわしい人柄と責任感を持ち、過去にこの事業に引率を経験したことのない方

●選考方法 書類選考および面接
※面接の日時などは、申込者に直接ご連絡します。

●応募方法 市庁舎4階学校教育課備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、400字程度にまとめた引率者適性に関する自己紹介文を添えて提出してください。

●申込受付期間 5月9日(月)～16日(月)※土・日を除く。

●申し込み・問い合わせ先

教育委員会学校教育課 ☎ 22-1342

白石城ボランティア観光ガイド募集

白石城や武家屋敷を訪れるお客さまに、ボランティアで施設の説明や案内をしていただける方を募集します。ぜひご応募ください。

●対象 4月～11月までの土・日・祝日にご協力いただける方

●申し込み・問い合わせ先

白石城管理事務所 ☎ 24-3030

市庁舎地下食堂の業務委託者を募集します

業務内容などの詳細はお問い合わせください(個人・法人は問いません)。
●申込締め切り日 5月31日(火)
●申し込み・問い合わせ先
白石市職員互助会事務局(総務課内)
☎ 22-1331

お知らせします

紙上からお礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方々からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます(敬称略)。
谷津實、菅野栄、村上喜一、半田きよ、菅野政人、菅野好光、すぎのこ母親クラブ 会長 佐々木とし子、大和ハウス工業㈱仙台支店 席執行役員・支店長 岡田恵吾、NECトーキン㈱白石事業所 代表取締役 岡部政和、(社)宮城県自動車協会 仙南地区自動車協会 会長 石川智博、平成22年度いきいき Enjoy 教室 受講生一同、協業組合 仙南環境公社 代表理事 山崎憲一、(財)宮城ヤマザワ教育振興基金 理事長 山澤進、村上文男



▲NECトーキン㈱からひこうせんに寄付されたおもちゃで遊ぶ子どもたち

敬老祝金の贈呈を見直しました

敬老祝金支給事業は、高齢者に敬老の意を表し、福祉の増進を図ることを目的に行ってきました。しかし、高齢化の進行に伴い、敬老祝金に要する経費や、介護保険・高齢者福祉事業に要する経費も増加する見込みであることから、さらなる高齢者福祉の充実を推進していくため、限られた財源の配分を見直し、敬老祝金を見直しを行いました。

これまでの敬老祝金は、77歳と88歳の方に支給してきましたが、4月から支給対象を縮小し、88歳の方に「米寿祝金」を支給することに改めました。なお、100歳の松竹梅敬老祝金は変更ありません。

●見直し後の支給内容

①米寿祝金

市内に1年以上住所を有する88歳の方に、10,000円を贈呈します(6月末までに贈呈)。

②松竹梅敬老祝金(変更なし)

市内に3年以上住所を有する満100歳を迎えた方に、30,000円から300,000円を贈呈します(満100歳を迎える誕生月に贈呈)。
※施設への入退所状況により贈呈額が異なります。

☎長寿課 ☎22-1361

～白石市国保加入者の皆さまへ～ 人間ドックの費用を助成します

健康保持増進のため、受診費用の一部助成を本年度も実施します。

●助成対象者 白石市国保の加入者で、下記のいずれかの年齢に該当し、国保税を完納している方

- ・満40歳(昭和46年4月2日～昭和47年4月1日生)
- ・満45歳(昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生)
- ・満50歳(昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生)
- ・満55歳(昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生)

●助成内容 被保険者1人につき27,800円を助成(受診時の個人負担額は10,000円)。ただし、オプション検査費用は全額個人負担。

●検査機関 公立刈田総合病院

●申請方法 保険証と印鑑を健康推進課(健康センター1階)までお持ちの上、申請してください。

●受診期間 平成23年5月～

●定員 60人(申し込み順)

●その他 年度内1回の助成。なお、人間ドックを受診した方は特定健康診査を受ける必要はありません。受診結果は本市にも提供され、特定保健指導に活用することがあります。

☎健康推進課 ☎22-1362

出産育児一時金制度が変わりました

出産育児一時金制度は、出産に要する経済的負担を軽減するため、一定の金額が支給される制度です。

平成23年4月以降、次の点が見直されました。

- ①昨年度に続き、支給額は42万円となります。ただし、在胎週数が22週に達していないなど産科医料補償制度の加算対象でない場合は、39万円となります。
- ②昨年度に続き「直接支払制度(※1)」を実施するとともに、小規模施設(※2)などでの受取代理(※3)」を制度化し、窓口での負担軽減を図ります。

※1 出産育児一時金の請求と受け取りを、加入者に代わって医療機関などが行う制度

※2 年間の分べん件数が100件以下、正常分べんの収入割合が50%以上などの診療所・助産所

※3 出産育児一時金の請求を行う際、出産する医療機関などへ直接、一時金が支給される制度

☎健康推進課 ☎22-1362

国民年金の保険料が変わりました

国民年金の保険料が、本年4月分から月額15,020円になりました。

■学生納付特例制度を受付中です

学生納付特例は、在学期間中、毎年申請が必要です。継続申請用の封書が届いた方は、同封のはがきに必要事項を記入の上、ポストに投函してください。

新たに申請する方や平成22年度に申請して継続申請用の封書が届かない方は、①学生証または在学証明書、②年金手帳、③印鑑をお持ちの上、市民課で手続きしてください。
※被災による減免は、14ページをご覧ください。

☎大河原年金事務所 ☎0224-51-3113
市民課 ☎22-1312

平成23年度から「みやぎっこ子育て家庭応援事業」がリニューアル!



宮城県と県内市町村では、4月から「みやぎっこ子育て家庭応援事業」の名称を「みやぎっこ応援カード事業」と改め実施しています。

●事業の概要 子育て家庭(中学生までのお子さまや妊娠中の方がいる家庭)が協賛店において買い物などをした際に、「みやぎっこ応援カード」を提示することで、協賛店が設定するサービス(割引、景品プレゼント、ミルク用のお湯の提供など)を受けることができます。

●事業実施期間

平成23年4月～平成27年3月

●新カード配布方法

就園・就学中のお子さまがいる家庭には、各保育園・幼稚園・小中学校を通して、また、在宅のお子さまがいる家庭には郵送で3月に配布しています(妊娠中の方には母子健康手帳交付時に配布します)。

対象家庭でカードが届いていない場合は、子ども家庭課までお問い合わせください。なお、原則として対象家庭に1枚の配布となります。

●協賛店舗 協賛店は、店頭に張ってあるステッカーが目印です。ホームページでも紹介しています。

・パソコン用 <http://sukumiya.jp>

・携帯電話用 <http://sukumiya.jp/m/>

☎子ども家庭課 ☎22-1363

市営白石駅前駐車場をご利用ください

通勤や通学時の駐車場をお探しの方は、市営の白石駅前駐車場をぜひご利用ください。一時利用もできます(30分以内は無料)。

●利用料(月額) 4,500円

☎都市整備課 ☎22-1325

白石市誕生祝い金の贈呈を見直しました

白石市集中改革プラン(改訂版)に基づき、事業の見直しを行い、4月1日から次の通り贈呈金額・内容を見直しました。

●贈呈金額

・第1子・第2子:10,000円

・第3子以降:20,000円

●贈呈内容 協同組合白石ゴールデンシール会商品券を贈呈します。

※協同組合白石ゴールデンシール会からも、誕生祝い金の1割相当分の商品券を合わせて贈呈され、地域全体で誕生を祝福します。

☎子ども家庭課 ☎22-1363

公共下水道への接続が新たに可能となりました

3月31日から、大平森合字森合沖の一部の区域で公共下水道への接続ができるようになりました。該当する区域の皆さまには、受益者負担金や排水設備工事などについて個別にお知らせします。

下水道の処理区域になった日から3年以内に接続される方は、資金の一部を無利子で借り入れられる制度があります。また、工事は市公認の業者に直接ご依頼ください。

※既に公共下水道・農業集落排水を使用できる区域にお住まいの方で、まだ接続されていない方は、早期の接続をお願いします。

☎上下水道事業所 ☎25-5522

農用地利用集積奨励事業を終了します

農用地の流動化や面的集積を促進するため、借り手農業者や貸し手農業者に奨励金を交付する事業を平成18年度より実施してきましたが、本年5月31日をもって終了することとなりました。事業終了により、平成23年度の交付対象は1月～5月開催の農業委員会で承認され、始期が平成23年5月31日までのものに限ります。なお、今後も契約期間満了前の解約は補助金返還の対象となりますので、ご注意ください。

☎農林課 ☎22-1253

まちの話題

～あの日、あの時～

Diary

楽しみながら交流を深める! 第20回白石市スポーツ少年団交流大会

2月21日、「第20回白石市スポーツ少年団交流大会」をホワイトキューブで開催しました。今年の大会には、柔道やバレーボール、野球、空手道の12団体に所属する幼稚園児から中学生まで約210人が参加しました。

大会前半は、所属する少年団の枠組みを超えて混成チームを編成。円盤遊具でドッチボールをするドッジビーと玉入れでは、ほかの少年団の選手と作戦を練りながらゲームに臨み、どの選手も楽しみながら交流を深めていました。

後半の大縄跳びとぞうきん掛けリレーは、各少年団対抗で熱戦を展開。熱戦に次ぐ熱戦の末、優勝は「青麻少年野球クラブ」。準優勝は「白石空手道」。第3位は「福岡少年野球クラブ」という結果になりました。



▲楽しみながら交流を深める選手たち



第18回公演「ランドセルと不思議な旅」

AZ9ジュニア・アクターズ

自治体の枠を越えた絆

仙南地域の阿武隈川（A）と蔵王連峰（Z）の環境を共有する9の自治体の小学4年生から6年生約40人で構成される「AZ9ジュニア・アクターズ」。この事業は、「演劇」という参加性の高い表現形態を生かして、積極的に地域との一体性の確立を目指すもので、平成5年にスタートした。

演出を手掛ける「SEND AI座プロジェクト」の俳優渡部ギユウさんの指導のもと、演技だけではなく、コミュニケーションの大切さを学びながら、自治体の枠を越えて深い人間的な絆と郷土の共有意識を育んでいる。

子どもたちを支え続ける育てる会

公演で使用する子どもたちの衣装や舞台を飾る大道具・小道具は、メンバーの保護者で構成される「育てる会」が中心となって制作し、劇団の活動を支えている。

そんな保護者の活動を応援し支えているのは、演劇のプロたちや卒業生、家族などの息長い力添えがあつて実現するもので、いまにたどり付くまでに重ねた時間は計り知れない。

ランドセルと不思議な旅

2月12日、13日の両日、大河原町の仙南芸術文化センター（えずこホール）で第18回公演「ランドセルの不思議な旅」が上演され、キャスト・スタッフを合わせ総勢170人の心を一つにした舞台が、詰めかけた約1,200人の観客を魅了した。

脚本は、仙台市の劇団「OC T/PASS」を主宰する石川裕人さん。ごみとして捨てられてしまったランドセルと文房具たち。そんなごみたちの奇想天外な旅の物語。文房具やごみたちの目線で人間と文明を物語った芝居のラストは、ステージ

いっぱいに映された戦場の映像。泣き叫ぶ子どもたち、逃げ惑う大人たち。ランドセルたちはそこで生きることを決めた。戦場になっている国や貧困で教育を受けられない子どもたちが、この世界には多くいる。このラストを決めたのは、渡部さんと子どもたちだという。

子どもたちは、自分の思いを自分の言葉で語る演劇を学びながら交流を図り、自分たちでテーマや役の心理を探りながら、自ら考える力を身に付け、物質文明が行き着いた果ての社会でまっとうな心を取り戻すための旅を「表現」した。

子どもたちの全身が映し出された感動の舞台は、観客の胸を熱くし、幕が下りても歓声が上がり、会場全体を共振させた。

新しい文化の息吹

演劇が生み出すコミュニケーションは、他者に共感する心を通じて、人と人をつなぎ付け、相互に理解し、尊重し合う土壌を提供する。そして、人々が協働し、共生する地域社会の基盤となるものである。

仙南地域が誇る「AZ9ジュニア・アクターズ」。卒業生は総勢2000人を超え、自治体の枠を越えたこの交流と絆は、新しい文化の息吹となっている。

「共同作業を通して考えて行動する力や、互いに認め合い支え合う仲間づくりは、生き方の教育。これは地域づくりにつながるコミュニケーションそのもの」と、渡部さんは言う。

自分自身を魅力的に表現し、他者の言葉・動きを受け止めるがひとつの演劇を創っていく過程は、地域を作っていく過程と共通点が多い。

将来の仙南地域がどう育っていくのか、舞台上の子どもたちを見ると楽しみになる。仙南地域が一体となって熱い声援を送り続けたい。

The 30th Community Center Festival

老若男女が公民館に集う

3月4日から6日までの3日間、「第30回公民館まつり」が中央公民館で開催された。歌や踊り、書道、絵画など生涯学習に取り組む方たちが1年間の成果を発表・展示するこのまつり。中央公民館の新築落成記念行事として、昭和57年に第1回が開催。それ以降、四半世紀を超えて多くの市民の皆さんが携わってきた。

ステージで発表する団体、制作物を展示する団体、それを脇で支える実行委員……。自分たちの発表はもちろん、まつり全体の成功のために、参加者自身がまつりを楽しんだ。ステージで発表した団体は、発表前の緊張感と発表後のさわやかな満足感を味わい、展示した団体は、来場者との会話を楽しんだ。

子どもからお年寄りまでが一堂に集まるこのまつり。ほかのイベントにはない、まさに「市民のためのイベント」である。

一つの趣味や活動に、世代の枠を越えて人が集まり、数多くの人と人をつなげている。そして、このまつりは人に目標を与えている。目標は人を動かし、人をいきいきとさせる。この活気は間違いなく白石のエネルギ―となっている。



練習の成果を披露！心をひとつに



科学とエコと大道芸の融合に観客はくぎ付け！らんま先生の実験！ecoサイエンスショー

●今月の旬の野菜 山菜、キャベツ、新たまねぎ など

1. バーバ工愛市（クラブいち）

- ①JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内
- 販売日時：毎週水曜日 9:00～12:00
- ②JAみやぎ仙南福岡支店構内(アグリハウス)
- 販売日時：毎週土曜日 9:00～12:00
- 問い合わせ：JAみやぎ仙南女性部
白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

2. 羽山朝採り市

- 販売日時：毎週土曜日 9:00～12:00
- 場 所：犬卒都婆公会堂前
- 問い合わせ：小畑 胖 ☎27-2236

3. 小十郎の郷【毎日営業！】

- 会員随時募集中です！
- 販売時間：10:00～16:00
- 場 所：白石地方卸売市場跡地(福岡長袋字八斗蔭地内)
- 問い合わせ：NPO小十郎まちづくりネットワーク
志村 ☎25-2814

4. 小原いきいき直売所

- 小原いきいき直売所は、当分の間、お休みします。
- 材木岩公園・検断屋敷は見学可能です（一部立ち入り禁止箇所あり）。農家レストラン「そば処小原なごみ茶屋」と売店は4月29日（祝）から再開予定です。
- 場 所：小原材木岩公園
- 問い合わせ：検断屋敷 ☎29-2760

5. 百姓市場

- 販売日時：毎週火・日曜日 10:00～13:00
- 場 所：ポーチパーク内
- 問い合わせ：佐久間 義昭 ☎25-6836

6. 青っ葉市直売所

- ①ポーチパーク内
- 販売日時：毎週水・土曜日 9:00～13:00
- ②本郷店（旧国道113号角田街道路切そば）
- 販売日時：毎週水曜日 9:00～12:00
- ③いきいきプラザ
- 販売日時：毎週土曜日 9:00～12:00
- ※スーパービック白石店でも販売しています。
- ぜひ、ご利用ください。
- 問い合わせ：大槻 久江 ☎25-8572

7. 軽トラ市

- 販売日時：毎週金曜日 9:00～12:00
- 場 所：すまゝひろば
- 問い合わせ：西竈 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

8. 馬牛沼産直センター【定休日：毎週月・水・金曜日】

- 販売日時：毎週火・木・土・日曜日
10:00～17:00
- 場 所：国道4号沿い馬牛沼付近
- 問い合わせ：馬牛沼産直センター
☎25-0520
- メールアドレス：bagyunuma@yahoo.co.jp



※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼い卵などを販売しています（直売所により品ぞろえは異なります）。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。

「白石市の農産物直売所マップ」が完成しました！



▲直売所マップで白石の農産物をPR！

白石市農産物直売所連絡協議会加盟店を1枚の地図で紹介する「白石市の農産物直売所マップ」が、3月に完成しました。マップには市内11カ所、8団体の直売所情報がかわいらしいイラストとともに紹介されています。マップを手にも、各直売所自慢の野菜などを巡ってみてはいかがでしょうか？

マップは、各直売所や白石駅観光案内所、市役所で配布しています。

同協議会は、地産地消を推進しています。会員も募集していますので、市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

☎農林課 ☎22-1253



▲購入した車いすを寄贈する児童たち

資源回収活動の収益で車いすを購入

白石第一小の青空児童会が介護老人施設に寄贈

2月21日、白石第一小の全校児童で組織する「白一小青空児童会」が、介護老人保健施設「清風」に車いす1台を寄贈しました。式には、同会のボランティア委員会の児童3人が参加。児童の代表が「お役に立てればうれしいです」とあいさつ。車いすに試乗した利用者は「座り心地が良くとても楽です」と話しました。同会は、平成15年度から資源回収したアルミ缶を換金して車いすを購入。市内の福祉施設などに寄贈する活動を続けています。



▲千田校長（右）と武田教育長に資料集を手渡す相馬さん

戦時中の女学校の実態解明に！

女子大生が白石高等女学校の「公文書綴り」を編集

2月24日、宮城学院女子大学の相馬月子さんが、昭和19年から21年までの白石高等女学校（のちの白石女子高校）の「公文書綴り」を資料集としてまとめ、白石高校（千田芳文校長）に贈呈しました。文書を編集する中で相馬さんは、「日常生活の文書ですが、戦争を抜いては語れない文面ばかりでした」と話しました。戦時中の学校の公文書が残っているのは全国的にも珍しく、今後、「挺身隊」や「学徒勤労動員」といった戦時中の実態を調べる資料として期待されます。



▲コーチから基本技術を学ぶ児童たち

サッカー好き小学生がプロから学ぶ！

ベガルタ仙台サッカークラス

2月24日、白石市スポーツ少年団本部主催の「ベガルタ仙台サッカークラス」がホワイトキューブで開催されました。教室には、市内の小学生約50人が参加。低学年、中学年、高学年の3つのグループに分かれ、リフティングやドリブル、パスなどの練習を行った後、ミニゲームを通して基本技術を学びました。参加した児童は「プロからボールさばきを分かりやすく教えてもらってとてもうれしかったです」と話してくれました。



▲工事の安全を祈願する関係者の皆さん

新工場で白石から世界に発信！

トーカドエナジー(株) 白石工場建替工事地鎮祭

東町にあるトーカドエナジー(株)（本社：東京都）の白石工場を建て替えることになり、2月27日に地鎮祭が行われました。昭和47年に創業した同社は、平成4年に白石工場を開設。エコビジネスで世界的に注目を集める「リチウムイオン電池パック」などの開発・生産を手掛けています。

出席した藤川毅代表取締役社長は「白石という美しいまちで、高付加価値の創造、社会に必要とされる工場を目指します」とあいさつ。新工場は本年11月に完成予定です。



ちびっこ美術館

「かたちあそび」 越河小2年生の皆さん



わが家のアイドル

ママからひとこと
心やさしい
女の子になってね

パパからひとこと
明るい素直な
子になってね



たかはし くるみ
高橋 来未ちゃん
ひめよし 文義さん、幸子さんご夫妻の長女（緑が丘）

※わが家のアイドルを募集中！
詳しくは総務課広報広聴係
（☎22-1331）へ

●いじめ相談（アイライン）

Eメール i-line@city.shiroishi.miyagi.jp 【24時間受け付け】
※電話相談も実施しています（毎週月～金 8:30～16:30）。
いじめ問題等対策室（教育委員会内） ☎22-1350

●家庭児童相談

毎週月～金 8:30～16:00
総合福祉センター ☎22-1400

●高齢者総合相談（事前連絡必要）

毎週月～金 8:30～17:15
①地域包括支援センター（総合福祉センター内）
☎22-1361（長寿課兼用回線）
②在宅介護支援センター茶園 ☎25-9955
③在宅介護支援センター八宮 ☎24-5222

●青少年相談

毎週月・火・木・金 8:30～16:30
市庁舎4階 青少年相談センター ☎22-1342（内線445）

●消費生活相談

毎週月・水・金 9:00～16:00
消費生活相談室（いきいきプラザ内） ☎22-0783

●DV・セクハラ相談（事前連絡必要）

毎週月・水・金 9:00～17:00
男女共同参画相談支援センター（ふれあいプラザ内）
※電話相談も実施しています。 ☎22-6035

※今月の定例相談は、35ページに掲載しています

「しろいし安心メール」の登録方法

「shiro-i@posh.jp」あてに空メールを送信して、
案内に従ってご登録ください。
二次元バーコード対応携帯電話をお持ちの方は、
右のバーコードをご利用ください。



5月は 軽自動車税（1期）の納期です。

※固定資産税（1期）は、6月に納期が変更となります。

「夜間収納総合窓口」開設（市で取り扱うすべての税金・料金の納付）

仕事などで忙しい方、ぜひご利用ください。

●日時 5月25日（水）・26日（木）

17:30～19:30（市税は17:30～20:00）

●場所 市庁舎1階 収納管理室・会計課ほか

■人 口 37,553人（2月末比）－166人
男18,366人 女19,187人

■世帯数 13,892世帯 ■出生件数 12件

■死亡件数 69件 ※住民基本台帳から、3月31日現在

■人 口 37,719人（1月末比）－26人
男18,463人 女19,256人

■世帯数 13,915世帯 ■出生件数 23件

■死亡件数 45件 ※住民基本台帳から、2月28日現在

市内の交通事故 3月1日～31日 ※（ ）は平成23年1月からの累計

■発生件数 45件（177件） ■死亡者数 1人（ 1人）
■負傷者数 5人（ 22人） ■物損件数 41件（158件）

市内の交通事故 2月1日～28日 ※（ ）は平成23年1月からの累計

■発生件数 58件（132件） ■死亡者数 0人（ 0人）
■負傷者数 8人（ 17人） ■物損件数 52件（117件）

【訂正とお詫びについて】

広報しろいし3月号の「市内の交通事故」の件数（1月1日～31日）に誤りがありました。正しくは下記の通りとなります。お詫びして訂正いたします。

■発生件数 74件（ 74件） ■死亡者数 0人（ 0人）
■負傷者数 9人（ 9人） ■物損件数 65件（ 65件）

変化の時代を切り開け！ ～白石高等学校で第1回卒業式～

3月1日、白石高等学校の「第1回卒業式」と専攻科看護科の「第1回修了式」が、同校のアリーナで開催されました。昨年4月、男子校の旧白石高等学校と女子校の旧白石女子高等学校が統合して共学となつてから、初の卒業式となつたこの日。全日課程351人、定時制課程七ヶ宿校14人、専攻科看護科28人の計393人が、それぞれの思いを胸に新たな旅立ちを誓いました。

千田芳文校長は卒業生に、「統合をスムーズに進めてくれたように、変化の時代を切り開いてほしい！」と式辞。在校生代表の齋藤光馬さんが「伝統のバトンを確かに受け取りました」と送辞を述べ、卒業生代表の我妻克哉さんは、「夢の実現のために一步一步進んでいきます」と力強く答辞を述べました。新たな歴史の1ページを刻んだ同校。卒業生も在校生も、新たな階段を歩み始めました。



ペーパーレス化を推進し、環境に優しい
水なし印刷方式を採用しています。

★職場をやめたときは、「国民年金」「国民健康保険」の手続きが必要です。